

Arguelet

電子コミュニケーションシステム

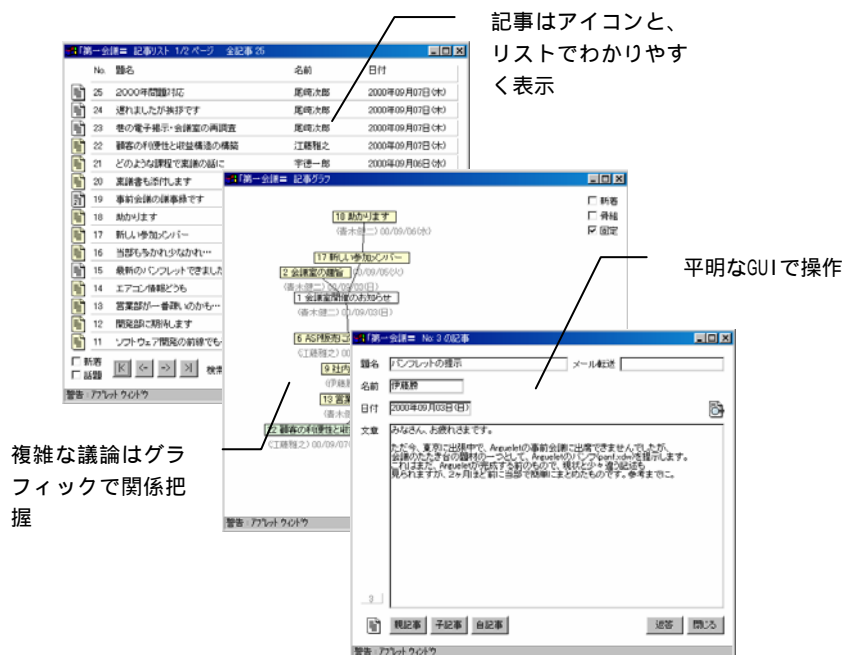
Arguelet

0 目次

1. Arguelet	3	10. 記事投稿	27
Arguelet とは何かを説明します。		記事を投稿する方法について説明します。	
2. Arguelet の特長	3	11. 記事グラフ	32
Arguelet の優れた機能を紹介します。		記事同士の関係を把握する方法について説明し	
3. Arguelet の動作環境	4	ます。	
Arguelet が動作するのに必要な環境を示します。		12. 親展リスト	35
4. Arguelet の制約条件	4	親展の目次をみる方法について説明します。	
Arguelet の制約条件を示します。		13. 親展閲覧	41
5. Arguelet の利用例	5	親展を閲覧する方法について説明します。	
Arguelet の広い利用範囲を示します。		14. 親展返信	46
6. ログイン	7	閲覧した親展にコメントを返す方法について説	
ユーザ認証について説明します。		明します。	
7. 記事リスト	9	15. 親展送信	51
記事の目次をみる方法について説明します。		親展を送信する方法について説明します。	
8. 記事閲覧	16	16. 親展グラフ	56
記事を閲覧する方法について説明します。		親展同士の関係を把握する方法について説明します。	
9. 記事返答	21		
閲覧した記事にコメントを返す方法について説明			
します。			

1 Arguelet

Arguelet は電子会議室、メール、チャット等の機能を備えた電子コミュニケーションシステムです。ブラウザだけの操作で PC 初心者でも簡単に使いこなせます。インターネットからイントラネットまで、双方向にコミュニケーションすることができ、DocuWorks 等のプラグインと連動するシームレスな操作環境を実現しています。また、会話内容は暗号化され、システム管理者や不特定多数のユーザにも見られることなく、セキュリティを確保した状態で安心してコミュニケーションできます。



2 Argueletの特長

- Web ブラウザで OK 余分なソフトは一切必要ありません。無償提供される Web ブラウザ (IE5.0 以上) だけで利用できます。
- 初心者にわかりやすい平明な GUI で作られた画面ですので、パソコン初心者も少しの練習で使いこなせます。広域ネットワーク対応 Web ブラウザで操作するため、LAN や WAN、Internet を問いません。職場からでも自宅からでも利用できます。議論の流れをグラフ化投稿された記事と記事の関係をグラフィックで表示し、議論の流れをわかりやすくします。
- セキュリティ確保会議内容は暗号化され、システム管理者にも見られることがありません。また、ログイン管理により不特定者の閲覧を制限します。DocuWorks との連動 DocuWorks、PDF 等のプラグインを利用することにより、文書を直接閲覧できます。Arguelet は、シームレスな操作環境を提供します。

3 Argueletの動作環境

- サーバ側環境 (UNIX)
 - ・ Apache + Perl
- サーバ側環境 (WindowsNT)
 - ・ Ver4.0 + ServicePack4 + IIS4.0 + OptionPack + Perl
- クライアント側環境
 - ・ Windows95/98/Me/NT/2000 が稼動するコンピュータ
 - ・ Internet Explorer5.0 以上
 - ・ DocuWorks Viewer Light for Web 等のプラグイン
 - ・ FTP 等のファイル転送ソフト

4 Argueletの制約条件

- 1 会議室あたり最大管理記事(親展)数 : 9,999 件
- 1 サーバあたり最大会議室数 : 無制限
- 1 会議室あたり入室可能ユーザ数 : 利用契約に依存
- 文章登録可能文字数 : 約 4,000 文字(全角漢字)
- 印刷可能文字数 : 約 2,000 文字(全角漢字)



情報表現の方法

いわゆる電子コミュニケーションを標榜するソフトの場合、Arguelet のような GUI 部品に配置するケースと、HTML に任せてブラウザで表示するケースがあります。共に一長一短がありますが、わかりやすさと表現のしやすさは GUI 系に利があります。

5 Argueletの利用例

- グループ間・個人間の連絡
作業グループや組織グループ毎に連絡用として会議室を設けておくことにより、グループ全体で情報の共有ができます。作業途中に必要なファイルや文書を電子会議室に記事投稿することにより、スムーズなコミュニケーションが達成されます。個人間の連絡も親展(電子メール)で可能です。
- プロジェクト毎の連絡
一定期間存在するプロジェクト体制に関しても、Internet対応なのでプロジェクト進行中に、社外の人とも容易に連絡やコミュニケーションが可能です。
- 会議資料の事前配布
会議に資料を持っていくのではなく、電子会議室に記事として投稿しておき、事前に資料に目を通しておくことで、会議時間を有効利用できます。
- 日報・週報管理
手書きの日報や週報を時間、場所を問わず、電子会議室に記事投稿することにより効率アップが図れます。また、グループ内の誰がどのような仕事をしているのが透明になり、グループ活性化にもつながります。日報や週報は再利用が難しい類の文書ですが、検索機能を使うことで再利用可能

となります。

- 設計図管理
設計に関連した設計図や写真等を電子ファイル化して、会議室に記事投稿しておくことにより、設計関連資料を一括して管理でき、再利用や参考閲覧に利用することができます。
- 見積書管理
見積書を電子ファイル化して、会議室に記事投稿しておくことにより、同様な物件に対して過去の提示額を参考にすることができます。また、算出根拠となった各種資料も添付しておくことにより、見積レベルの向上につながります。
- 提案書管理
過去の提案書を集約し、電子会議室に記事投稿しておくことにより、営業支援データベースとしても利用できます。個人レベルの Know-How からグループ、会社レベルの Know-How へと提案書を最大限に有効利用できます。
- フォーマット集
社内の就業規則や各種申請書を電子ファイル化して、会議室に記事投稿しておくことにより、全社員が容易に情報アクセスすることができ、総務の効率化が図れます。また、電子ファイルのフォーマット等を集めた会議室を設置することにより、全社で統一された電子文書を作成できます。

□ 広報

全社行事や通達文書を会議室に記事投稿しておくことにより、紙面印刷による資源と時間コスト、郵送コストを削減し、業務の効率化が図れます。また、ディスプレイ上で閲覧することにより、カラー写真等、いっそう充実した紙面づくりが可能です。



情報の単位 記事の投稿・返答と親展の送信・返信・受信

ユーザが Arguelet に登録する情報の単位には、記事と親展があります。記事は多数の人に同時に見てもらう場合の単位です。親展は特定(一人)の人に見てもらう場合の単位です。親展はメールと等価も思っても問題はありません。また、記事には投稿と返答の違いがあります。初めて情報を記事として登録する場合を投稿といいます。その投稿された記事に対してコメントを返す場合、返答といいます。返答に返答を返すこともあります。親展の場合は一対一の関係になるため、送信・返信とそれに対する受信という違いがあります。



会議室と記事、親展の関係

会議室には記事だけを扱うものと、親展だけを扱うものがあります。記事を扱うものは一対多のコミュニケーションを行

う会議室で、親展を扱うものは一対一のコミュニケーションを行う会議室です。つまり、記事を扱う会議室は掲示板、親展を扱う会議室はメールボックスと対比できます。

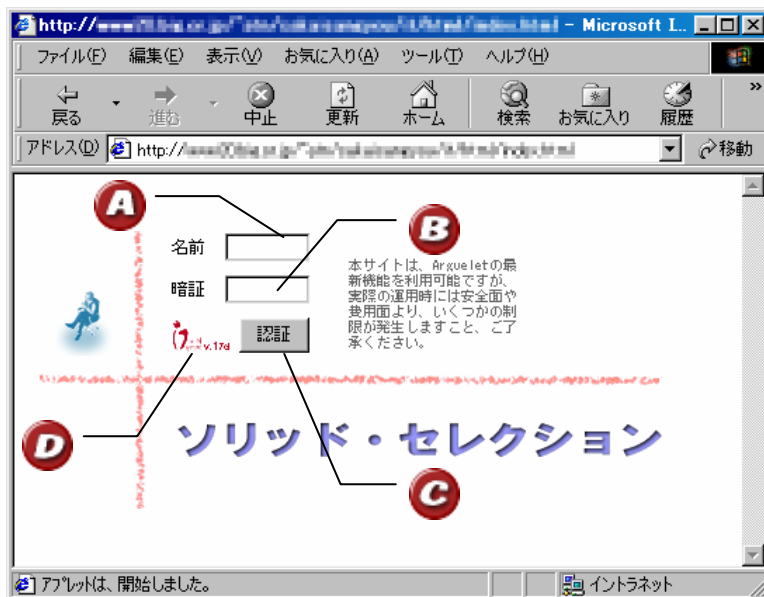


Arguelet のウィンドウ窓がない!

Arguelet の画面が、ブラウザなど他のアプリケーションの画面によって隠される場合があります。その場合はタスクバーに表示されたボタンをクリックすることで、画面の前面に表示することができます。

6 ログイン

Arguelet はホームページの中に埋め込まれていますが(図参照)、Arguelet を使用するためには、ログイン操作を行なう必要があります。ログインが成功して、初めて Arguelet の機能を使うことができます。ログインするには、正しいログイン名とパスワードが必要です。ログイン名とパスワードは(パスワードは特に)、各ユーザが責任を持って管理して、他人に勝手に使われないようにする必要があります。



ユーザ名とパスワードは Arguelet 管理者から使用期限付きで配布されます。セキュリティを考慮して推測されにくいログイン名とパスワードになっています。



A ログイン名入力欄

ログイン名は、半角アルファベット文字の組み合わせです。ユーザ毎に異なったログイン名が割り当てられます。同一会議室内で同じログイン名は存在しません。



鈴木一郎 「Suzuki」



半角と全角に注意して入力してください。システムは半角と全角を区別して扱います。



B パスワード入力欄

パスワードは半角アルファベット文字と記号の組み合わせです。ユーザ毎に秘密のパスワードが割り当てられます。パスワード入力中は入力文字が「*」で画面表示されますが、これは他のユーザに盗み見されないためです。システムは入力した文字を確実に記録していますので、安心して正確に入力してください。

認証ボタン

正しいユーザ名とパスワードを入力後、認証ボタンを押します。押した直後、ボタンが灰色になって使用不可になりますが、その間は Arguelet サーバからのユーザ認証確認待ちとなっている状態です。認証時間はネットワークやサーバの状態にもよりますが、数秒から数十秒となります。正式なユーザであると認証された時点で、Arguelet の記事リスト画面が表示されます。



メールだけを扱う会議室の場合は親展リストが表示されます。



サウンド機能のあるシステムでは、ログイン時に音が鳴ります。



ボタンが灰色になっている状態では、なるべくコンピュータに触れないで下さい(具体的にはブラウザや Arguelet の各機能に触れないで下さい)。



稀なケースですが、ログイン名を入力する時点で、認証ボタンが灰色になっている場合があります。これは、ネットワークやサーバの負荷等により

Arguelet が完全動作できない状態となっている時に発生します。ブラウザの再表示ボタンを押して、認証ボタンが灰色のままか再度確認してください。灰色のままの場合は、システム関係者に連絡してください。



Arguelet 版数

現在使用している Arguelet の管理版数が開発元のロゴと同時に表示されています。



ログイン名とユーザ名

Arguelet ではログイン名を半角アルファベットの組み合わせ、ユーザ名を漢字の組み合わせにしています。システムによっては半角アルファベットの組み合わせがユーザ名となっているものもありますので、混同しないようにしてください。



会議室への入室と退出

Arguelet の情報管理(登録・読み出し)メタファーは、会議室です。そのため、情報にアクセスするためには会議室に「入室」し、アクセスを終了するときには会議室を「退出」という言葉が使われます。

7 記事リスト

The screenshot shows a web browser window titled 'ソリッドセレクション 記事リスト 1/6 ページ 全記事 76'. The main content is a table of articles with columns for 'No.', '題名', '名前', and '日付'. Below the table are navigation controls including '新着' (New), '話題' (Topic), search fields, and buttons for '投稿' (Post), '確認' (Confirm), and '閉じる' (Close). Callout letters A through S are placed around the interface to identify specific features.

No.	題名	名前	日付
98	iModeとEZwebが同一コンテンツで	匿名加工	2001年01月05日(金)
97	WAPとcHTMLがいは統合へ	記事	2001年01月05日(金)
92	オープンにすれば良いというものではない	匿名加工	2000年12月27日(水)
91	携帯でのJavaは航海に出たばかり	匿名加工	2000年12月27日(水)
90	紙面こそURLは記載されてない?	匿名加工	2000年12月27日(水)
89	Netscape 6に多くのユーザーが批判的な立場	記事	2000年12月27日(水)
88	ドコモ、Iモード端末向けのJava仕様を公開	記事	2000年12月27日(水)
87	NHKが本格的にニュースのネット配信開始	記事	2000年12月27日(水)
84	Egghead.comのハッカー侵入、カード情報盗難	記事	2000年12月26日(火)
83	ブレイド型電子マネー「Edy」が来年10月開始	記事	2000年12月26日(火)
80	機材部と関連する記事かどうか	匿名加工	2000年12月24日(日)
79	日本HP、アップデートファイルにウイルス混入	記事	2000年12月24日(日)
78	JPDメインレジストリ業務、民間会社に移管へ	記事	2000年12月24日(日)
77	建設省が資機材の標準コード策定へ	記事	2000年12月24日(日)
76	フレッツ・ADSL対応料金発表、大手ISP3社	記事	2000年12月24日(日)

ログイン認証が成功すると記事リスト画面が表示されます(図参)

照)。記事リスト画面ではユーザが投稿した記事を、番号・題名・名前・日付の4つの項目でリスト表示します。番号や日付はシステムが自動で設定するため、記録が正確に永遠に記録されます。記事は1画面で新しい順番に15記事が表示されていますが、それ以上、過去の記事を見たいときも、ページをめくる感覚で記事を探ることができます。また、過去の記事で特定の文字を含む記事を検索することもできます。

参考 記事リストが表示されたとき、新着記事がある場合に音が鳴ります。

A ユーザ名表示欄
ログイン名に対応したユーザ名が表示されます。ここに表示されているユーザが、現在 Arguelet を使用しているユーザとなります。複数の会議室に異なるユーザ名で参加しているユーザの場合は、この表示欄で自分のログイン状態を把握することができます。

参考 ユーザ名は本名である必要はありません。匿名性を重視する場合はパソコン通信などでのニックネームに類似したもので構いません。逆に匿名性を排除する場合は本名がよいでしょう。



ユーザ名は同一会議室内で重複してはいけません。

B 会議室名表示欄

ユーザが入室した電子会議室の名前が表示されます。各ユーザはこの表示欄で自分が入室した会議室を把握します。会議室ではどのような内容の記事でも投稿・返答可能ですが、会議室の名前に適した内容で情報コミュニケーションを行います。

参考

会議室の名前と内容が一致しない話題が増えたとしたら Arguelet 管理者に相談して、その話題を主に扱う会議室を新設してもらおうといいでしょう。

C 記事リスト・話題リスト表示欄

ログインした直後は「記事リスト」と表示されています。これは記事リストの表示状態が記事全て(投稿記事・返答記事)であることを示しています。後述の話題チェックボックスをチェックすると「話題リスト」と表示されます。

D ページ数表示欄

記事リストは 1 画面に 15 記事の題名を表示することができます。それ以上の記事が会議室に記録されている場合は、15 記事単位で 1 ページに計算されたページ番号が総ページ数と共に表示されます。

E 総記事数・総話題数表示欄

会議室が記録している記事の総数が表示されます。後述の話題チェックボックスをチェックすると話題の総数を表示します。

参考

会議室では 1,000 を越える記事を扱うことができますが、性能劣化(リスト表示・閲覧・検索が遅くなります)を考慮して 1,000 記事前後で会議室の分室化やログ保存など、Arguelet 管理者に相談するといいいでしょう。また、ネットワークや PC、サーバの性能にも依存しますので、システム管理者に相談する必要もあります。

F 記事番号表示欄

記事の番号が表示されます。記事番号はシステムが自動で採番するため、ユーザは気にしなくてかまいません。他のユーザに「 会議室の 番号の記事を見て欲しい」といった場合に使用します。

G 題名表示欄

記事の題名(タイトル)が表示されます。全角漢字で約 20 文字まで表示されますが、それを超えると題名の末尾が「...」

で省略されて表示されます。

H 投稿者・返答者名表示欄

記事の投稿者・返答者名が表示されます。この表示欄で記事を書いたかを確認することができます。投稿者・返答者名はユーザ名と等価になります。

注意 システムが実際に記事を執筆している人が本人であるかどうかを識別することはできません。従って、なりすまし防止のためにも、ユーザ名とパスワードは他人に教えないようにしてください。

I 記事投稿・返答日付表示欄

記事を投稿・返答した日付が曜日付で表示されます。日付管理は分単位で行っていますので、細かな管理ができます。

注意 サーバやPC等のタイマーが万が一狂っても記事は時系列的に投稿・返答されますので、意図的に記事の順位をごまかすことはできません。

J 新着チェックボックス

記事リストを見ている時点で、最新の会議室状態を知りたいときにチェックします。しばらく全てのボタンやチェックボ

ックスが灰色となって使用不可となります。その間に、Arguelet サーバから最新の情報を取得します。最新情報が取得できた時点でボタン等が使用可能となり、新着記事(新しくArgueletに登録された記事)があれば記事リストの先頭に表示されます。

参考 記事が新着か新着でないかは、後述の記事グラフィコンで識別することができます。記事アイコンの右上端が赤く着色されているものが新着記事です。


注意 新着チェックはサーバとネットワークに負荷をかけます。何度もチェックを繰り返さないようにしてください。


注意 ボタンが灰色になっている状態では、なるべく他の機能を使わないで下さい。

K 話題チェックボックス

ログイン直後の記事リストには、投稿記事と返答記事が時系列に表示されていますが、話題単位でわかりやすく表示したい場合にチェックします。しばらく全てのボタンやチェック

ボックスが灰色となって使用不可となります。その間に、Arguelet サーバから最新の情報を取得し、話題単位で表示しなおします。

 話題チェックボックスをチェックした時点で、新着も同時にチェックされます。

 ボタンが灰色になっている状態では、なるべく他の機能を使わないで下さい。

先頭ページ移動ボタン

最新の記事が表示されている 1 ページ目を表示します。

前ページ移動ボタン

現在、見ているページの記事よりも新しい記事を見たい場合に押下します。


次ページ移動ボタン

現在、見ているページの記事よりも古い記事を見たい場合に押下します。

最終ページ移動ボタン


会議室が記録しているもっとも古い記事を見たい場合に押


下します。

 これらの移動ボタン押下によるネットワークやサーバへの影響はありません。クライアント PC の性能に依存して、高速に機能します。

検索文字列入力欄

会議室が記録している記事の中で、探したい文字列を含む記事をリストアップします。探したい文字列を入力してエンターキーを入力すると、しばらく全てのボタンやチェックボックスが灰色となって使用不可となります。その間に、Arguelet サーバに検索文字列を問い合わせます。検索できた時点でボタン等が使用可能となり、文字列を含んだ文章の題名・名前・日付をリスト表示します。検索文字列を含む記事がなかった場合は何も表示されません。

 検索文字列は半角スペースで区切ることにより AND 検索が可能です。

 文字列を探すのは文章のみです。題名や名前、日付は検索の対象外です。



検索は会議室の情報量に比例して時間がかかります。



ボタンが灰色になっている状態では、なるべく他の機能を使わないで下さい。



高速検索チェックボックス

高速で文字列を探したいときにチェックします。チェックをはずすと検索速度は落ちますが、文字列が改行やスペース等で区切られていても検索文字列を探し出します。



「第三営業部からの報告によると日本(改行)生命が、介護保険事業に来年度から…」
上記のような文章で、検索文字列が「日本生命」でも確実に探したい場合にはチェックをはずします。



投稿ボタン

新規に記事を投稿したい場合に押下します。記事投稿画面が表示されます。



退出保存チェックボックス

会議室から退出した時間を保存します。退出した時間以降に投稿・返答された記事が新着扱いとなります。従って、通常

はチェックした状態で閉じるボタンを押しますが、全ての記事を読みきれなかった場合はチェックをはずしておくことで、新着状態が現状のまま維持されます。



ただし、ログイン以降に閲覧した既読記事(既に読んだ記事)も新着状態に戻ります。



記事閲覧ダブルクリックエリア

記事を閲覧する場合に、このエリアをダブルクリックします。ダブルクリックするとしばらくして記事閲覧画面が表示されます。ネットワークやサーバの状態により、表示されるまでに時間がかかる可能性があります。その間はボタン等が灰色になって使用不可となっていますが、最悪でも数十秒で表示されますので、しばらくお待ちください。



クリックしただけでは、記事が選択されているだけ(題名・名前・日付が反転した状態)で、記事閲覧画面は表示されません。再度、ダブルクリックしてください。



ボタンが灰色になっている状態では、なるべく他の機能を使わないで下さい。

記事グラフアイコン

記事と記事との関連(投稿と返答の関係)を見たいときに、このアイコンをダブルクリックします。記事グラフ画面が表示されます。



このアイコンは記事グラフを表示する機能があると同時に記事の属性も表現しています。新着記事の場合は右上端が赤く着色されます。投稿記事の場合は白色のアイコンが表示され、返答記事の場合は黄色のアイコンが表示されます。また、白色のアイコン(投稿記事)に小さな数字が付与される場合がありますが、これはその投稿記事に対する返答記事の数を表現しています。

閉じるボタン

会議室から退出するときに押下します。退出時間を Arguelet サーバに問い合わせる関係上、ネットワークやサーバの状態によっては画面が閉じるまでに時間がかかる可能性があります。最悪でも数十秒で閉じますので、そのままお待ちください。



Arguelet を終了する際に閉じるボタンを押さないで、いきなりブラウザの閉じるボタンを押さないよ

うにしてください。新着チェック時間が合わなくなります。



ボタンが灰色になっている状態では、なるべく他の機能を使わないで下さい。



検索のスタンス

Arguelet ではデフォルトの検索を高速モードにしています。これはサーバへの負荷対策と同時に、情報検索作業では検索漏れが若干あっても記憶している情報と一致していればそれで作業は事足りることが大半であることを前提にしています。つまり自分の探したい情報 + =検索結果ではなく、自分の探したい情報 - 検索結果をその考えの基礎としています。



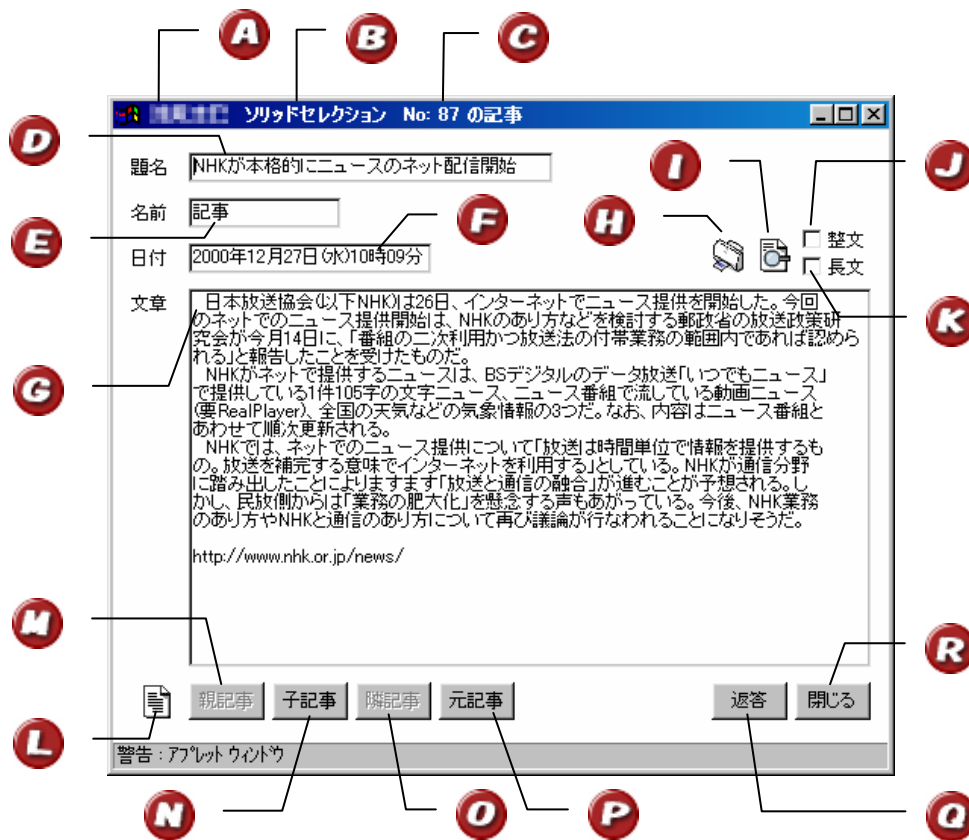
ブラウザの終了

Arguelet はブラウザを使って情報にアクセスしますが、作業を終了した時点でブラウザを閉じることをお勧めします。Arguelet は情報セキュリティを十分考慮して設計してありますが、OS やブラウザ自体のバグやセキュリティ攻撃に対して万能というわけではありません。一般的にブラウザは情報アクセスしている際に一時的なデータを残しています。ブラ

ウザを閉じて一時的なデータもクリアするように習慣付け
ましょう。

8 記事閲覧

記事リストの記事閲覧ダブルクリックエリア、または、記事グラフの記事ノードをダブルクリックすると記事閲覧画面が表示されます(図参照)。記事閲覧画面では、題名・名前・日付と文章が表示さ



れます。それぞれは表示欄にわかりやすく配置されており、文章も量が多い場合はスクロールして閲覧するスタイルとなっています。また、記事と記事との関係に従って親・子・隣の記事に直接移動し、閲覧することができます。

注意 記事閲覧画面は、速ければ数秒で表示されますが、ネットワークやサーバの状態によっては時間がかかる場合があります。画面が表示されるまで長い場合で数十秒かかるケースがありますが、そのままお待ちください。

A ユーザ名表示欄
ログイン名に対応したユーザ名が表示されます。ここに表示されているユーザが、現在 Arguelet を使用しているユーザとなります。複数の会議室に異なるユーザ名で参加しているユーザの場合は、この表示欄で自分のログイン状態を把握することができます。

参考 ユーザ名は本名である必要はありません。匿名性を重視する場合はパソコン通信などでのニックネームに類似したもので構いません。逆に匿名性を排除する場合は本名がよいでしょう。



ユーザ名は同一会議室内で重複してはいけません。



B 会議室名表示欄

ユーザが入室した電子会議室の名前が表示されます。各ユーザはこの表示欄で自分が入室した会議室を把握します。会議室ではどのような内容の記事でも投稿・返答可能ですが、会議室の名前に適した内容で情報コミュニケーションを行います。



会議室の名前と内容が一致しない話題が増えたとしたら Arguelet 管理者に相談して、その話題を主に扱う会議室を新設してもらおうといいでしょう。



C 記事番号表示欄

閲覧している記事の番号が「No: の記事」のように表示されます。返答記事であった場合には「No: への返答」の文字が追加して表示されます。また、閲覧している記事が新着記事だった場合は「未読」の文字が最後に表示されます。



D 題名表示欄

閲覧している記事の題名が表示されます。記事リスト画面で表示しきれなかった文字数の題名も表示されます。ただし、長い題名のものはカーソル移動で見ることになります。



E 投稿者・返答者名表示欄

閲覧している記事を投稿・返答したユーザ名が表示されます。



F 記事投稿・返答日付表示欄

閲覧している記事が投稿・返答された時間が表示されます。



G 文章表示欄

閲覧している記事の文章(本文)です。表示可能な文字数は約 4,000 字ですが、印刷保証された文字数は約 2,000 文字となります。画面に収まりきれない文字数は左右上下にスクロールして閲覧します。



H 印刷アイコン

印刷アイコンをダブルクリックすると、閲覧している記事を会議室名・記事番号・題名・投稿者/返答者名・投稿/返答日付・文章に分けて新規表示されたブラウザに表示します。実際に印刷する場合はブラウザの印刷ボタンを押下してください。



記事閲覧画面では、文章内の文字列を一時的に変更することができますが、印刷時にはサーバから正式な文章を取得してから印刷処理を行いますので、文面の改竄はできません。



印刷する文字を構成して、ブラウザに表示するまでに、ネットワークやサーバの状態によっては時間が掛かります。他の機能を使用しないで、そのまましばらくお待ちください。



URL アイコン

文章中にある URL 文字列をドラッグして選択状態にした上で、URL アイコンをダブルクリックすると新規表示されたブラウザに URL が示すリソースを表示します。ブラウザで扱えるプラグイン相当のものであれば基本的に何でも表示できます。

Arguelet の URL 表記例

<http://www.abc.com/company/ファイル名> HTTP プロトコル

<ftp://ftp.abc.com/company/ファイル名> FTP プロトコル

ファイル名は以下の例を参照

products.html	ホームページ文書
products.xdw	DocuWorks 文書
products.doc	Word 文書
products.xls	Excel 文書
products.txt	テキスト文書
products.lzh	圧縮ファイル



Arguelet は省略 URL 表記としてファイル名だけを

ドラッグして、URL アイコンをダブルクリックすることができます。ただし、その場合は会議室にユーザ登録する際にユーザ固有のファイル保存 URL を Arguelet 管理者に知らせておく必要があります。



ブラウザのプラグインによる表示は、対象となるファイルのサイズによって表示までの時間が大きく左右されます。また、プラグインの場合、転送経過がわかりづらいことが多く、ブラウザがフリーズしたように見えることがあります。LAN 接続の LED 等あれば点滅を確認して転送が行なわれているか確認してください。



整文チェックボックス

入力欄の横幅に合わせて強制改行します。文章を連続して入力していき、適当なところでチェックすることにより、入力済みの文章を約 35 文字で折り返します。



閲覧時には使用することのない機能ですが、改行されおらず横スクロールしながらでないで閲覧できない文章の場合は一時的に折り返し処理することで、縦スクロールだけで文章を閲覧することができます。



大量の文章を折り返し処理する場合は少々時間が掛かります。他の機能を使用しないでしばらくお待ちください。



長文チェックボックス

記事閲覧時には使用しません。



記事グラフアイコン

記事と記事との関連(投稿と返答の関係)を見たいときに、このアイコンをダブルクリックします。記事グラフ画面が表示されます。



このアイコンは記事グラフを表示する機能があると同時に閲覧している記事の属性も表現しています。投稿記事を閲覧している場合は白色のアイコンが表示され、返答記事を閲覧している場合は黄色のアイコンが表示されます。



親記事閲覧ボタン

記事と記事の関連に従って、現在、閲覧している記事の親にあたる記事を読みたい場合に使用します。閲覧している記事が最初の親であった場合は画面に変化はありません。



子記事閲覧ボタン

記事と記事の関連に従って、現在、閲覧している記事の子にあたる記事を読みたい場合に使用します。閲覧している記事の子に当たる記事が存在しない場合はボタンが灰色となって押下できません。



隣記事閲覧ボタン

記事と記事の関連に従って、現在、閲覧している記事の隣にあたる記事を読みたい場合に使用します。閲覧している記事の隣にあたる記事が存在しない場合はボタンが灰色となって押下できません。また、隣記事ボタンを押下し続けると最初の記事に戻ってきます。



元記事閲覧ボタン

一番初めに閲覧した記事を再度、閲覧したい場合に使用します。



これらの記事閲覧ボタンは、表示されるまでにネットワークやサーバの状態により時間がかかる場合があります。その間は他のボタン等が灰色になって使用不能になっていますが、記事が表示されるまでしばらくお待ちください。



返答ボタン

現在、閲覧している記事に対してコメントを書きたい場合は、返答ボタンを押下します。記事返答画面が表示されます。



閉じるボタン

記事閲覧画面を終了するときを押下します。



印刷のセキュリティ低下

印刷する場合にはセキュリティに十分注意してください。Arguelet は電子データのセキュリティを最大限確保しますが、印刷することによる紙面化へのセキュリティは保証できません(例えば、プリンタの前にどんな人物が立っているかわかりませんし、紙面の回覧による情報流出は避けられません)。この点に関して、Arguelet は印刷を使用制限する機能も有していますので、詳しくは、Arguelet 管理者に問合せください。



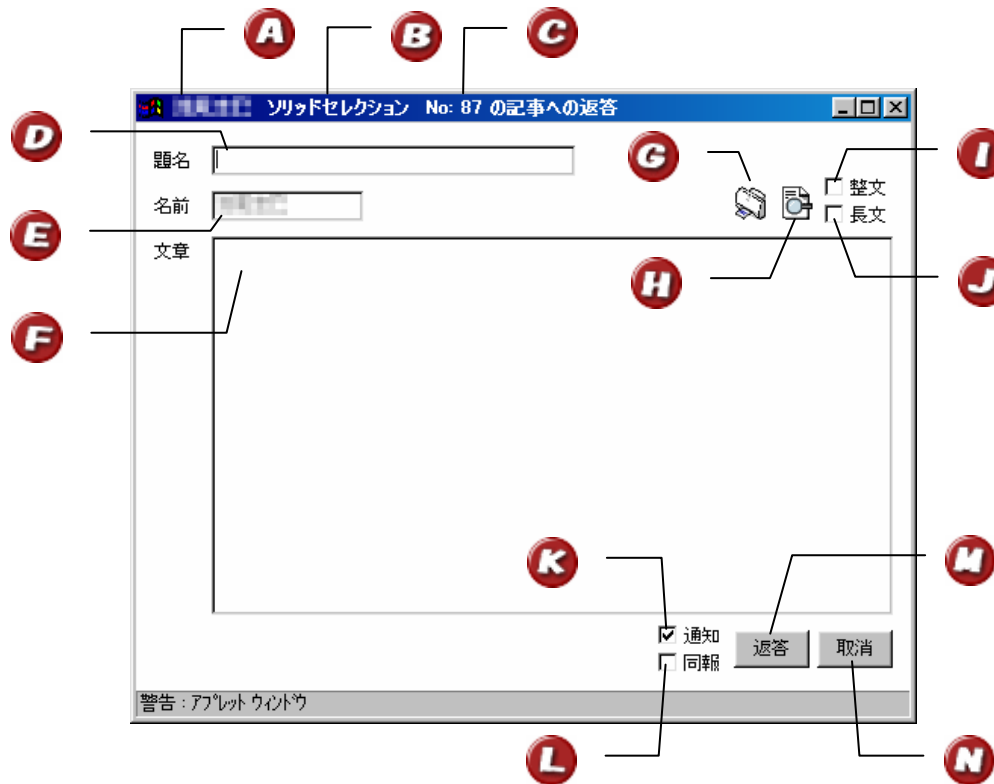
親・子・隣・元記事の関係

記事は投稿と返答の関係があることから、記事間に世代に似た階層関係が発生します。例えば、一番初めに記事 を投稿し、それに返答記事 を書くとし、記事 に同じく記事

を返答記事とし、最後に記事 を返答記事 に書いたとします。この場合、記事 を閲覧している時点では、記事 は親記事、記事 は子記事、記事 は隣記事、そして記事 は元記事という関係になります。

9 記事返答

記事閲覧画面で返答ボタンを押下すると記事返答画面が表示されます(図参照)。記事返答画面では、題名・名前・文章が表示されます。それぞれは表示欄にわかりやすく配置されており、文章も入力量が多い場合はスクロールして入力することができます。



A ユーザ名表示欄

ログイン名に対応したユーザ名が表示されます。ここに表示されているユーザが、現在 Arguelet を使用しているユーザとなります。複数の会議室に異なるユーザ名で参加しているユーザの場合は、この表示欄で自分のログイン状態を把握することができます。



ユーザ名は本名である必要はありません。匿名性を重視する場合はパソコン通信などでのニックネームに類似したもので構いません。逆に匿名性を排除する場合は本名がよいでしょう。



ユーザ名は同一会議室内で重複してはいけません。

B 会議室名表示欄

ユーザが入室した電子会議室の名前が表示されます。各ユーザはこの表示欄で自分が入室した会議室を把握します。会議室ではどのような内容の記事でも投稿・返答可能ですが、会議室の名前に適した内容で情報コミュニケーションを行います。



会議室の名前と内容が一致しない話題が増えたと思ったら Arguelet 管理者に相談して、その話題を

主に扱う会議室を新設してもらいたいでしょう。

C 記事番号表示欄

返信しようとしている記事の番号が「No: の記事への返信」のように表示されます。

D 題名入力欄

返信しようとする文章内容を要約した題名を入力します。入力文字数は 20 文字程度です。入力欄に入る文字数で入力します。超えて入力しても記録はされますが、記事リストでは末尾が「...」で省略されます。

E 返答者名表示欄

返信記事を書こうとしているユーザ名が表示されます。この表示欄は修正することができないため灰色で表示されています。

F 文章入力欄

入力する記事の文章(本文)です。入力可能な文字数は約 4,000 字ですが、印刷保証された文字数は約 2,000 文字となります。画面に収まりきれない文字数は左右上下にスクロールして入力することになります。

G 印刷アイコン

印刷アイコンをダブルクリックすると、入力している記事を会議室名・記事番号・題名・投稿者/返答者名・投稿/返答日付・文章に分けて新規表示されたブラウザに表示します。実際に印刷する場合はブラウザの印刷ボタンを押下してください。



印刷する文字を構成して、ブラウザに表示するまでに、ネットワークやサーバの状態によっては時間が掛かります。他の機能を使用しないで、そのまましばらくお待ちください。

H URL アイコン

文章中にある URL 文字列をドラッグして選択状態にした上で、URL アイコンをダブルクリックすると新規表示されたブラウザに URL が示すリソースを表示します。ブラウザで扱えるプラグイン相当のものであれば基本的に何でも表示できます。

Arguelet の URL 表記例

<http://www.abc.com/company/ファイル名> HTTP プロトコル

<ftp://ftp.abc.com/company/ファイル名> FTP プロトコル

ファイル名は以下の例を参照

products.html	ホームページ文書
products.xdw	DocuWorks 文書
products.doc	Word 文書
products.xls	Excel 文書
products.txt	テキスト文書
products.lzh	圧縮ファイル



Arguelet は省略 URL 表記としてファイル名だけをドラッグして、URL アイコンをダブルクリックすることができます。ただし、その場合は会議室にユーザ登録する際にユーザ固有のファイル保存 URL を Arguelet 管理者に知らせておく必要があります。



ブラウザのプラグインによる表示は、対象となるファイルのサイズによって表示までの時間が大きく左右されます。また、プラグインの場合、転送経過がわかりづらいことが多く、ブラウザがフリーズしたように見えることがあります。LAN 接続の LED 等あれば点滅を確認して転送が行なわれているか確認してください。



整文チェックボックス

入力欄の横幅に合わせて強制改行します。文章を連続して入

力していき、適当なところでチェックすることにより、入力済みの文章を約 35 文字で折り返します。



通常は使用することのない機能ですが、改行されていない HTML 形式の文章やメールからの切り貼りを行う際や、連続してタイプする人には便利な機能です。折り返しが綺麗でないように思えますが、プロポーショナルフォントのためにそのように見えます。等幅フォントのアプリケーションにコピーしてみるときっちりと両幅が揃っています。



大量の文章を折り返し処理する場合は少々時間が掛かります。他の機能を使用しないでしばらくお待ちください。





長文チェックボックス

通常、チェックしません。文章を返答する際に印刷文字数の限度(約2,000文字)を越えている場合は返答できないようになっています。ただし、その場合でも印刷できない部分があることを承知で約4,000文字までならば返答することができます。その場合にチェックします。ただし、4,000文字を越える場合はチェックしてもしなくても返答はできません。

通知チェックボックス


記事を返答した時に、返答先のユーザに返答があったことを通知する場合にチェックします。通常はチェックされた状態なので変更する必要はありません。

 **参考** 自分自身に返答した場合は誰にも通知されません。ただし、返答先の記事を執筆したユーザが自分自身で、かつ、その記事を遡る親記事のどれかが他ユーザ執筆の記事があれば、そのユーザに通知が入ります。


 **注意** 通知は sendmail システムを使用します。従って、sendmail 環境のないネットワークでは通知を行うことはできません。

同報チェックボックス

記事を返答したときに、会議室に参加している全てのユーザに返答があったことを同報する場合に使用します。


 **参考** 同報チェックボックスがチェックされている場合は、通知チェックボックスのチェック状態に依存せ

ず、会議室に参加している全てのユーザに記事が返答されたことを同報します。利用方法としては、返答する先のユーザ以外にも返答があったことを知っていて欲しい場合などがあります。

 **注意** 同報は sendmail システムを使用します。従って、sendmail 環境のないネットワークでは同報を行うことはできません。また、sendmail 環境であっても大量のユーザにメールを配信することはシステムの性能劣化にもつながりますので、Arguelet 管理者とシステム管理者に相談してください。

返答ボタン

入力されている情報を返答記事として Arguelet サーバに正式に登録したい場合にボタン押下します。ネットワークやサーバの状態によっては登録までに数十秒かかることがあります。その場合、しばらく全てのボタンやチェックボックスが灰色となって使用不可となります。その間、Arguelet サーバに記事を登録していますので、そのままお待ちください。登録完了後、記事返答画面は自動的に閉じられます。

 **参考** Arguelet サーバでの記事登録作業開始時に音が鳴ります。



Arguelet では、HTML 系の電子会議室のように登録できない文字はありません(半角カナ等)。基本的に全ての文字が登録対象となりますが、幾つかの文字は登録制限(使用できない)があります。また、全角スペースは登録時に自動的に半角スペース二つに変換して登録します。

使用不可能な文字「バッククオート、パーティカルバー等」



入力されている情報に不完全なもの(題名が入力されていない等)がある場合は登録されません。



ボタンが灰色になっている状態では、なるべく他の機能を使わないで下さい。



取り消しボタン

入力されている情報を破棄して、記事返答画面を終了します。



印刷のセキュリティ低下

印刷する場合にはセキュリティに十分注意してください。

Arguelet は電子データのセキュリティを最大限確保します

が、印刷することによる紙面化へのセキュリティは保証できません(例えば、プリンタの前にどんな人物が立っているかわかりませんし、紙面の回覧による情報流出は避けられません)。この点に関して、Arguelet は印刷を使用制限する機能も有していますので、詳しくは、Arguelet 管理者に問合せください。



文書内の URL 表記

文書内に URL を表記しておくことにより複数の添付ファイルや URL を他のユーザに公開することができます。例えば、ある企画書を作り、その企画書が Word でまとめてあるとします。また、企画書を作る際に参考にしたインターネット上のホームページがあったとします。その場合、以下のような文章を登録することで、会議室に入室できる全ユーザが簡単に Word 文書やホームページを情報共有することができます。

文書の例：

「おつかれさまです。懸案となっております 地区における新規店舗展開の企画書がまとめあがりました。企画書はまだ草案段階ですが、皆さんの忌憚のない意見をお聞かせいただき、参考にしたいと考えております。企画書は「企画書 01 版.doc」となっております。また、参考にしました ち

エーンのホームページと 商事のホームページの URL を示
しますので、確認してみてください。

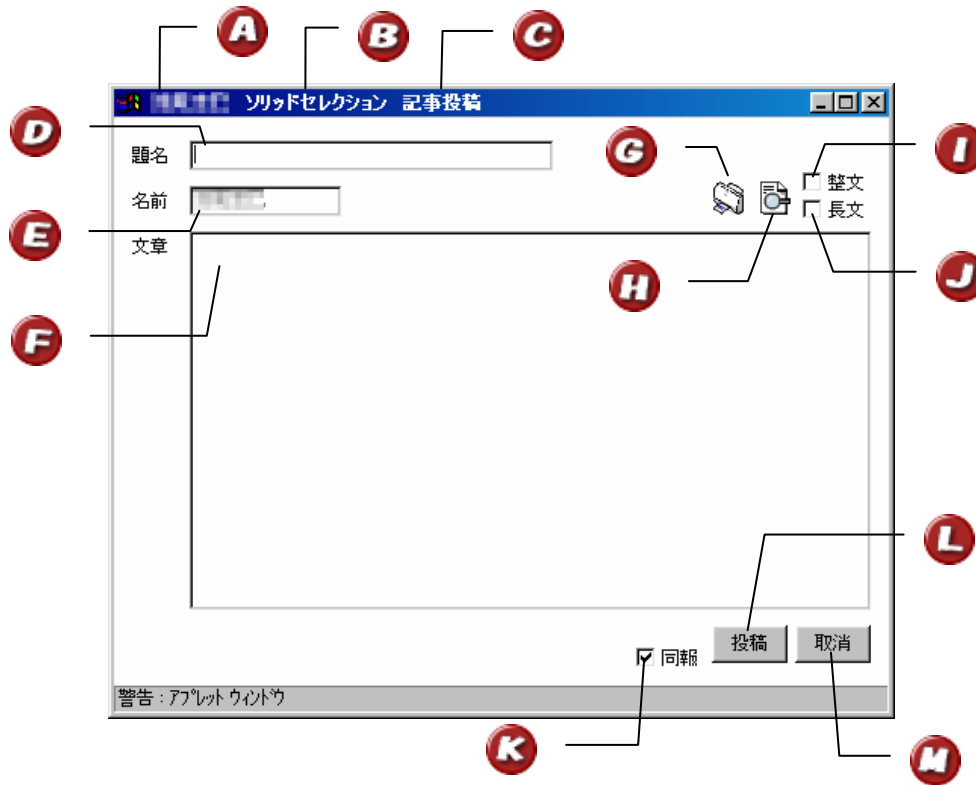
チェーン：<http://www.lifecom.co.jp/index.html>

商事：<http://www.dai1chi.co.jp/index.html>

それではよろしく申し上げます。」

10 記事投稿

記事リスト画面で投稿ボタンを押下すると記事投稿画面が表示されます(図参照)。記事投稿画面では、題名・名前・文章が表示されます。それぞれは表示欄にわかりやすく配置されており、文章も入力量が多い場合はスクロールして入力することができます。



A ユーザ名表示欄

ログイン名に対応したユーザ名が表示されます。ここに表示されているユーザが、現在 Arguelet を使用しているユーザとなります。複数の会議室に異なるユーザ名で参加しているユーザの場合は、この表示欄で自分のログイン状態を把握することができます。



ユーザ名は本名である必要はありません。匿名性を重視する場合はパソコン通信などでのニックネームに類似したもので構いません。逆に匿名性を排除する場合は本名がよいでしょう。



ユーザ名は同一会議室内で重複してはいけません。

B 会議室名表示欄

ユーザが入室した電子会議室の名前が表示されます。各ユーザはこの表示欄で自分が入室した会議室を把握します。会議室ではどのような内容の記事でも投稿・返答可能ですが、会議室の名前に適した内容で情報コミュニケーションを行います。



会議室の名前と内容が一致しない話題が増えたら Arguelet 管理者に相談して、その話題を主に扱う会議室を新設してもらおうといいでしょう。

C 記事投稿表示欄

「記事投稿」と表示されます。

D 題名入力欄

投稿しようとする文章内容を要約した題名を入力します。入力文字数は 20 文字程度です。入力欄に入る文字数で入力します。超えて入力しても記録はされますが、記事リストでは末尾が「...」で省略されます。

E 投稿者名表示欄

投稿記事を書こうとしているユーザ名が表示されます。この表示欄は修正することができないため灰色で表示されています。

F 文章入力欄

入力する記事の文章(本文)です。入力可能な文字数は約 4,000 字ですが、印刷保証された文字数は約 2,000 文字となります。画面に収まりきれない文字数は左右上下にスクロールして入力することになります。

G 印刷アイコン

印刷アイコンをダブルクリックすると、入力している記事を会議室名・記事番号・題名・投稿者/返答者名・投稿/返答日

付・文章に分けて新規表示されたブラウザに表示します。実際に印刷する場合はブラウザの印刷ボタンを押下してください。



印刷する文字を構成して、ブラウザに表示するまでに、ネットワークやサーバの状態によっては時間が掛かります。他の機能を使用しないで、そのまましばらくお待ちください。

H URL アイコン

文章中にある URL 文字列をドラッグして選択状態にした上で、URL アイコンをダブルクリックすると新規表示されたブラウザに URL が示すリソースを表示します。ブラウザで扱えるプラグイン相当のものであれば基本的に何でも表示できます。

Arguelet の URL 表記例

<http://www.abc.com/company/ファイル名> HTTP プロトコル

<ftp://ftp.abc.com/company/ファイル名> FTP プロトコル

ファイル名は以下の例を参照

products.html ホームページ文書

products.xdw DocuWorks 文書

products.doc Word 文書

products.xls	Excel 文書
products.txt	テキスト文書
products.lzh	圧縮ファイル



Arguelet は省略 URL 表記としてファイル名だけをドラッグして、URL アイコンをダブルクリックすることができます。ただし、その場合は会議室にユーザ登録する際にユーザ固有のファイル保存 URL を Arguelet 管理者に知らせておく必要があります。



ブラウザのプラグインによる表示は、対象となるファイルのサイズによって表示までの時間が大きく左右されます。また、プラグインの場合、転送経過がわかりづらいことが多く、ブラウザがフリーズしたように見えることがあります。LAN 接続の LED 等あれば点滅を確認して転送が行なわれているか確認してください。



整文チェックボックス

入力欄の横幅に合わせて強制改行します。文章を連続して入力していき、適当なところでチェックすることにより、入力済みの文章を約 35 文字で折り返します。



通常は使用することのない機能ですが、改行されていない HTML 形式の文章やメールからの切り貼りを行う際や、連続してタイプする人には便利な機能です。折り返しが綺麗でないように思えますが、プロポーショナルフォントのためにそのように見えます。等幅フォントのアプリケーションにコピーしてみるときっちりと両幅が揃っています。



大量の文章を折り返し処理する場合は少々時間が掛かります。他の機能を使用しないでしばらくお待ちください。



長文チェックボックス

通常、チェックしません。文章を投稿する際に印刷文字数の限度(約2,000文字)を越えている場合は投稿できないようになっています。ただし、その場合でも印刷できない部分があることを承知で約4,000文字までならば投稿することができます。その場合にチェックします。ただし、4,000文字を越える場合はチェックしてもしなくても投稿はできません。



同報チェックボックス

記事を投稿したときに、会議室に参加している全てのユーザ

に投稿があったことを同報する場合に使用します。



同報は sendmail システムを使用します。従って、sendmail 環境のないネットワークでは同報を行うことはできません。また、sendmail 環境であっても大量のユーザにメールを配信することはシステムの性能劣化にもつながりますので、Arguelet 管理者とシステム管理者に相談してください。



投稿ボタン

入力されている情報を投稿記事として Arguelet サーバに正式に登録したい場合にボタン押下します。ネットワークやサーバの状態によっては登録までに数十秒かかることがあります。その場合、しばらく全てのボタンやチェックボックスが灰色となって使用不可となります。その間、Arguelet サーバに記事を登録していますので、そのままお待ちください。登録完了後、記事投稿画面は自動的に閉じられます。



Arguelet サーバでの記事登録作業開始時に音が鳴ります。



Arguelet では、HTML 系の電子会議室のように登録できない文字はありません(半角カナ等)。基本的に

全ての文字が登録対象となりますが、幾つかの文字は登録制限(使用できない)があります。また、全角スペースは登録時に自動的に半角スペース二つに変換して登録します。

使用不可能な文字「バッククオート、パーティカルバー等」



入力されている情報に不完全なもの(題名が入力されていない等)がある場合は登録されません。



ボタンが灰色になっている状態では、なるべく他の機能を使わないで下さい。



取り消しボタン

入力されている情報を破棄して、記事投稿画面を終了します。



印刷のセキュリティ低下

印刷する場合にはセキュリティに十分注意してください。Arguelet は電子データのセキュリティを最大限確保しますが、印刷することによる紙面化へのセキュリティは保証できません(例えば、プリンタの前にどんな人物が立っているかわかりませんし、紙面の回覧による情報流出は避けられませ

ん)。この点に関して、Arguelet は印刷を使用制限する機能も有していますので、詳しくは、Arguelet 管理者に問合せください。

商事：<http://www.dai1chi.co.jp/index.html>
それではよろしくをお願いします。」



文書内の URL 表記

文書内に URL を表記しておくことにより複数の添付ファイルや URL を他のユーザに公開することができます。例えば、ある企画書を作り、その企画書が Word でまとめてあるとします。また、企画書を作る際に参考にしたインターネット上のホームページがあったとします。その場合、以下のような文章を登録することで、会議室に入室できる全ユーザが簡単に Word 文書やホームページを情報共有することができます。

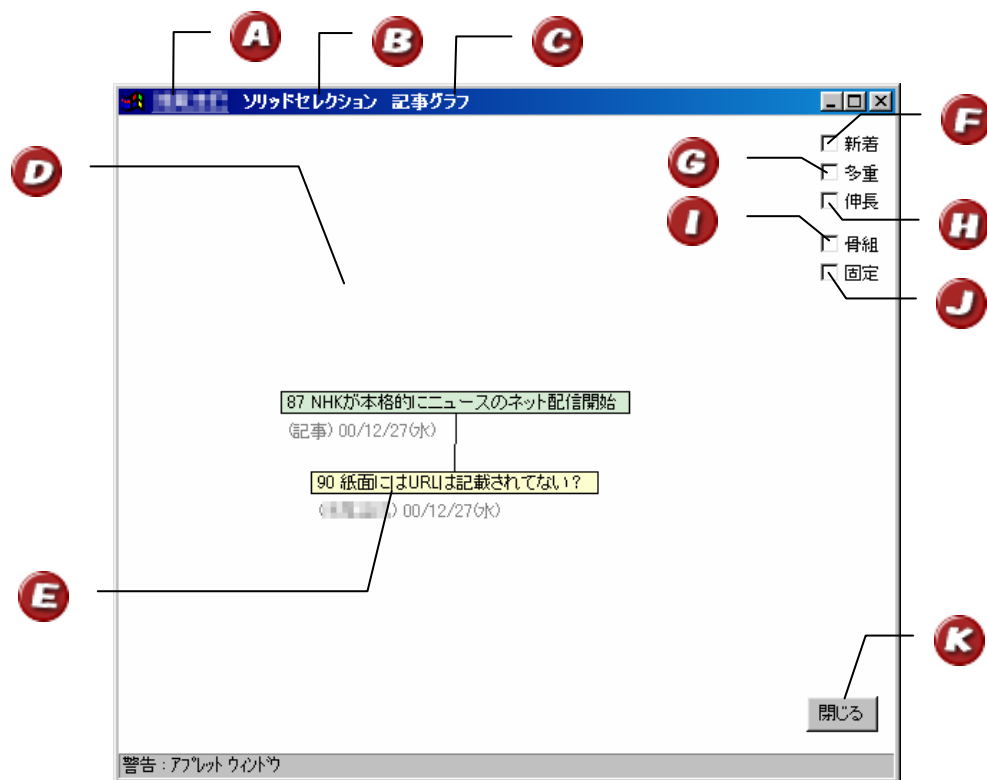
文書の例：

「おつかれさまです。懸案となっております 地区における新規店舗展開の企画書がまとめあがりました。企画書はまだ草案段階ですが、皆さんの忌憚のない意見をお聞かせいただき、参考にしたいと考えております。企画書は「企画書 01 版.doc」となっております。また、参考にしました チェーンのホームページと 商事のホームページの URL を示しますので、確認してみてください。

チェーン：<http://www.lifecom.co.jp/index.html>

11 記事グラフ

記事リスト画面や記事閲覧画面で、記事グラフアイコンをダブルクリックすると記事グラフが表示されます。記事グラフは記事と記事の関連を木構造でグラフィカルに表現するものです。記事リスト画面では把握しきれない記事と記事の関連を一目で把握することができます。



A ユーザ名表示欄

ログイン名に対応したユーザ名が表示されます。ここに表示されているユーザが、現在 Arguelet を使用しているユーザとなります。複数の会議室に異なるユーザ名で参加しているユーザの場合は、この表示欄で自分のログイン状態を把握することができます。



ユーザ名は本名である必要はありません。匿名性を重視する場合はパソコン通信などでのニックネームに類似したものでも構いません。匿名性を排除する場合は本名がよいでしょう。



ユーザ名は重複してはいけません。

B 会議室名表示欄

ユーザが入室した電子会議室の名前が表示されます。各ユーザはこの表示欄で自分が入室した会議室を把握します。会議室ではどのような内容の記事でも投稿・返答可能ですが、会議室の名前に適した内容で情報コミュニケーションを行います。



会議室の名前と内容が一致しない話題が増えたら Arguelet 管理者に相談して、その話題を主に扱う会議室を新設してもらおうといいでしょう。

C 記事グラフ表示欄

「記事グラフ」と表示されます。

D 記事グラフ表示エリア

このエリアに記事グラフが表示されます。記事を表した各ノードがエリアを出ることはできません。

E 記事ノード

このノードをダブルクリックすると記事閲覧画面が表示されます。ネットワークやサーバの状態により、表示されるまでに時間がかかる可能性があります。その間はボタン等が灰色になって使用不可となっていますが、最悪でも数十秒で表示されますので、しばらくお待ちください。

参考

このノードは記事の属性も表現しています。新着記事の場合は右上端が赤く着色されます。投稿記事の場合は白色のノードが表示され、返答記事の場合は黄色のノードが表示されます。現在、選択中のノードは緑色になっています。また、検索した結果を表示した記事リストから記事グラフを開いた場合は検索に一致した記事ノードの右上端が青く着色されます。

注意

ボタンが灰色になっている状態では、なるべく他の機能を使わないで下さい。

F 新着チェックボックス

記事グラフを見ている時点での最新の会議室状態を知りたいときにチェックします。しばらく全てのボタンやチェックボックスが灰色となって使用不可となります。その間に、Arguelet サーバから最新の情報を取得します。最新情報が取得できた時点でボタン等が使用可能となり、新着記事(新しくArgueletに登録された記事)があれば記事グラフに追加表示されます。

参考

記事が新着か新着でないかは、記事を表現したノードで識別することができます。ノードの右上端が赤く着色されているものが新着記事です。

注意

新着チェックはサーバとネットワークに負荷をかけます。何度もチェックを繰り返さないようにしてください。

注意

ボタンが灰色になっている状態では、なるべく他の機能を使わないで下さい。

G 多重表示チェックボックス

通常、チェックしません。複数の話題(投稿・返答)を同時にグラフ表示するときにチェックします。

H 伸長チェックボックス

記事グラフの表示エリアを縦二倍に拡張したいときにチェックします。大量の記事が関連しあったときに記事ノードが込み入らないように縦長にして表示します。

I 骨組みチェックボックス

記事ノードが重なり合って関連が見にくいときにチェックします。

J 固定チェックボックス

記事ノードが揺れてダブルクリックしづらいときにチェックします。チェックすると全ての記事ノードが動作停止します。その状態で記事ノードをマウスでドラッグ移動することもできます。

K 閉じるボタン

記事グラフ画面を終了します。



記事グラフと記事ノード

記事をノードとして捉え木構造でグラフ化します。投稿・返答モデルの議論の流れは、典型的な階層型の木構造になります。単純な意見の応酬であれば一列にノードは並びますが、一つの記事に並列した意見等が複数返答された場合は複雑なグラフとなって表示されます。日常の情報交換レベルであれば記事リストで十分であり、記事グラフを多用することは稀でしょうが、議論が複雑になった場合に記事グラフを利用して議論の流れを把握することができます。また、後から会議室に参加した人が比較的スムーズに議論に入り込めるよう配慮した機能であることも事実です。

12 親展リスト

ログイン認証が成功すると親展リスト画面が表示されます(図参)



照)。親展リスト画面ではユーザが送信・受信した親展を、番号・題名・親展元/先・日付の4つの項目でリスト表示します。番号や日付はシステムが自動で設定するため、記録が正確に永遠に記録されます。親展は1画面で新しい順番に15親展が表示されていますが、それ以上、過去の親展を見たいときも、ページをめくる感覚で親展を探すことができます。また、過去の親展で特定の文字を含む親展を検索することもできます。



親展リストが表示されたとき、新着親展がある場合に音が鳴ります。

A ユーザ名表示欄

ログイン名に対応したユーザ名が表示されます。ここに表示されているユーザが、現在 Arguelet を使用しているユーザとなります。複数の会議室に異なるユーザ名で参加しているユーザの場合は、この表示欄で自分のログイン状態を把握することができます。




ユーザ名は本名である必要はありません。匿名性を重視する場合はパソコン通信などでのニックネームに類似したもので構いません。逆に匿名性を排除する場合は本名がよいでしょう。



ユーザ名は同一会議室内で重複してはいけません。

B 会議室名表示欄

ユーザが入室した電子会議室の名前が表示されます。各ユーザはこの表示欄で自分が入室した会議室を把握します。会議室ではどのような内容の親展でも送信・返信可能ですが、会議室の名前に適した内容で情報コミュニケーションを行います。

 会議室の名前と内容が一致しない親展が増えたとしたら Arguelet 管理者に相談して、その親展を主に扱う会議室を新設してもらうといいでしょう。

C 親展リスト表示欄

「親展リスト」と表示されます。

D ページ数表示欄

親展リストは 1 画面に 15 親展の題名を表示することができます。それ以上の親展が会議室に記録されている場合は、15 親展単位で 1 ページに計算されたページ番号が総ページ数と共に表示されます。

E 総親展数表示欄

会議室が記録している親展の総数が表示されます。

 参考

会議室では 1,000 を越える親展を扱うことができますが、性能劣化(リスト表示・閲覧・検索が遅くなります)を考慮して 1,000 親展前後で会議室の分室化やログ保存など、Arguelet 管理者に相談するといいいでしょう。また、ネットワークや PC、サーバの性能にも依存しますので、システム管理者に相談する必要もあります。

F 親展番号表示欄

親展の番号が表示されます。親展番号はシステムが自動で採番するため、ユーザは気にしなくてかまいません。他のユーザに「 会議室の 番号の親展を見て欲しい」といった場合に使用します。

G 題名表示欄

親展の題名(タイトル)が表示されます。全角漢字で約 20 文字まで表示されますが、それを超えると題名の末尾が「...」で省略されて表示されます。

H 親展元/先表示欄

親展の送信者・返信者名が表示されます。この表示欄で親展を誰が送信してきたか(親展元)、誰が受け取ったか(親展先)を確認することができます。親展元/先はユーザ名と等価になります。

注意 システムが実際に親展を執筆している人が本人であるかどうかを識別することはできません。従って、なりすまし防止のためにも、ユーザ名とパスワードは他人に教えないようにしてください。

I 親展送信・受信日付表示欄

親展を送信・受信した日付が曜日付で表示されます。日付管理は分単位で行っていますので、細かな管理ができます。

注意 サーバや PC 等のタイマーが万が一狂っても親展は時系列的に送信・受信されますので、意図的に親展の順位をごまかすことはできません。

J 送信チェックボックス

ログイン直後の親展リストには、受信親展のみが時系列に表示されていますが、送信親展と受信親展を同時に表示したい場合にチェックします。しばらく全てのボタンやチェックボ

ックスが灰色となって使用不可となります。その間に、Arguelet サーバから最新の情報を取得し、送信親展を表示します。

参考 送信チェックボックスをチェックした時点で、新着も同時にチェックされます。

参考 親展が新着か新着でないかは、後述の親展グラフアイコンで識別することができます。親展グラフアイコンが未開封の封筒が新着親展です。

注意 ボタンが灰色になっている状態では、なるべく他の機能を使わないで下さい。

K 受信チェックボックス

受信親展を表示したい場合にチェックします。しばらく全てのボタンやチェックボックスが灰色となって使用不可となります。その間に、Arguelet サーバから最新の情報を取得し、受信親展を表示します。

参考 受信チェックボックスをチェックした時点で、新着も同時にチェックされます。



親展が新着か新着でないかは、後述の親展グラフィコンで識別することができます。親展グラフィコンが未開封の封筒が新着親展です。



ボタンが灰色になっている状態では、なるべく他の機能を使わないで下さい。



先頭ページ移動ボタン

最新の親展が表示されている 1 ページ目を表示します。



前ページ移動ボタン

現在、見ているページの親展よりも新しい親展を見たい場合に押下します。



次ページ移動ボタン

現在、見ているページの親展よりも古い親展を見たい場合に押下します。



最終ページ移動ボタン

会議室が記録しているもっとも古い親展を見たい場合に押下します。



これらの移動ボタン押下によるネットワークやサ

ーバへの影響はありません。クライアント PC の性能に依存して、高速に機能します。



検索文字列入力欄

会議室が記録している親展の中で、探したい文字列を含む親展をリストアップします。探したい文字列を入力してエンターキーを入力すると、しばらく全てのボタンやチェックボックスが灰色となって使用不可となります。その間に、Arguelet サーバに検索文字列を問い合わせます。検索できた時点でボタン等が使用可能となり、文字列を含んだ文章の題名・親展元/先・日付をリスト表示します。検索文字列を含む親展がなかった場合は何も表示されません。



検索文字列は半角スペースで区切るにより AND 検索が可能です。



文字列を探すのは文章のみです。題名や親展元/先、日付は検索の対象外です。



検索は会議室の情報量に比例して時間がかかります。



ボタンが灰色になっている状態では、なるべく他

の機能を使わないで下さい。

Q 高速検索チェックボックス

高速で文字列を探したいときにチェックします。チェックをはずすと検索速度は落ちますが、文字列が改行やスペース等で区切られていても検索文字列を探し出します。



「第三営業部からの報告によると日本(改行)生命が、介護保険事業に来年度から…」
上記のような文章で、検索文字列が「日本生命」でも確実に探したい場合にはチェックをはずします。

R 送信ボタン

新規に親展を送信したい場合に押下します。親展送信画面が表示されます。

S 退出保存チェックボックス

会議室から退出した時間を保存します。退出した時間以降に送信・受信された親展が新着扱いとなります。従って、通常はチェックした状態で閉じるボタンを押しますが、全ての親展を読みきれなかった場合はチェックをはずしておくことで、新着状態が現状のまま維持されます。



ただし、ログイン以降に閲覧した既読親展(既に読んだ親展)も新着状態に戻ります。

T 親展閲覧ダブルクリックエリア

親展を閲覧する場合に、このエリアをダブルクリックします。ダブルクリックするとしばらくして親展閲覧画面が表示されます。ネットワークやサーバの状態により、表示されるまでに時間がかかる可能性があります。その間はボタン等が灰色になって使用不可となっていますが、最悪でも数十秒で表示されますので、しばらくお待ちください。



クリックしただけでは、親展が選択されているだけ(題名・親展元/先・日付が反転した状態)で、親展閲覧画面は表示されません。再度、ダブルクリックしてください。



ボタンが灰色になっている状態では、なるべく他の機能を使わないで下さい。

U 親展グラフアイコン

親展と親展との関連(送信と受信の関係)を見たいときに、このアイコンをダブルクリックします。親展グラフ画面が表示されます。



このアイコンは親展グラフを表示する機能があると同時に親展の属性も表現しています。新着親展の場合は未開封の封筒アイコンが表示されます。送信親展の場合は青色のアイコンが表示され、受信親展の場合は赤色のアイコンが表示されます。



閉じるボタン

会議室から退出するときに押下します。退出時間を Arguelet サーバに問い合わせる関係上、ネットワークやサーバの状態によっては画面が閉じるまでに時間がかかる可能性があります。最悪でも数十秒で閉じますので、そのままお待ちください。



Arguelet を終了する際に閉じるボタンを押さないで、いきなりブラウザの閉じるボタンを押さないようにしてください。新着チェック時間が合わなくなります。



ボタンが灰色になっている状態では、なるべく他の機能を使わないで下さい。



検索のスタンス

Arguelet ではデフォルトの検索を高速モードにしています。これはサーバへの負荷対策と同時に、情報検索作業では検索漏れが若干あっても記憶している情報と一致していればそれで作業は事足りることが大半であることを前提にしています。つまり自分の探したい情報 + =検索結果ではなく、自分の探したい情報=検索結果をその考えの基礎としています。

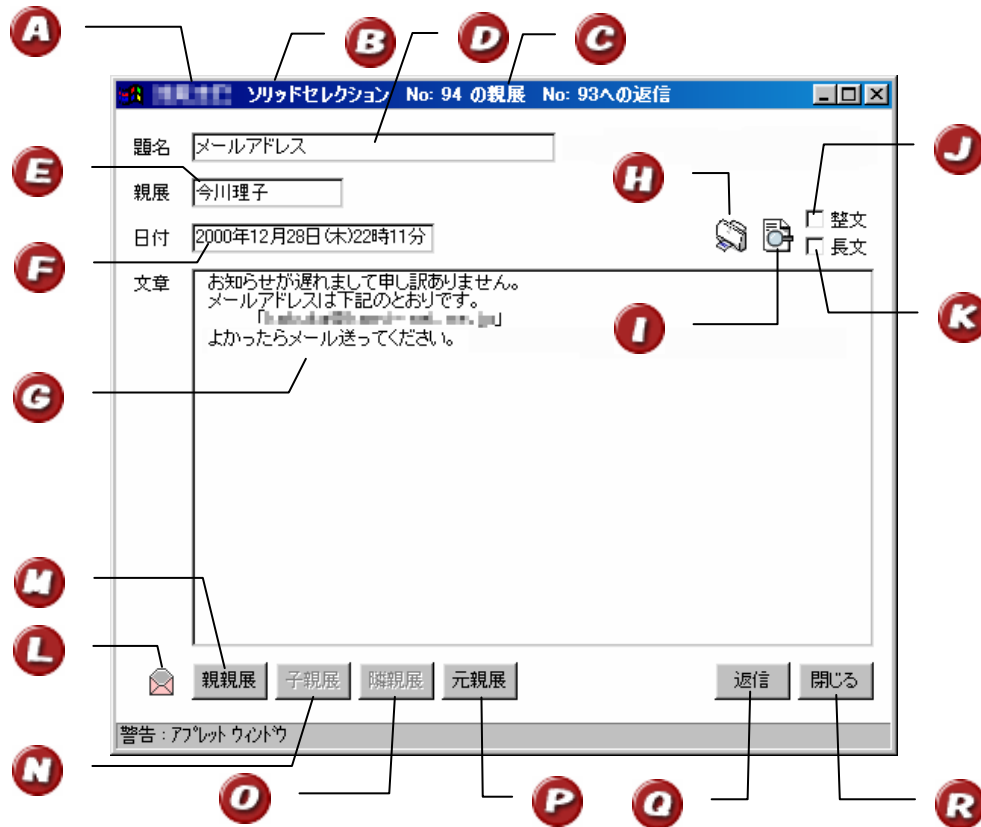


ブラウザの終了

Arguelet はブラウザを使って情報にアクセスしますが、作業を終了した時点でブラウザを閉じることをお勧めします。Arguelet は情報セキュリティを十分考慮して設計してありますが、OS やブラウザ自体のバグやセキュリティ攻撃に対して万能というわけではありません。一般的にブラウザは情報アクセスしている際に一時的なデータを残しています。ブラウザを閉じて一時的なデータもクリアするように習慣付けましょう。

13 親展閲覧

親展リストの親展閲覧ダブルクリックエリア、または、親展グラフの親展ノードをダブルクリックすると親展閲覧画面が表示されます。



す(図参照)。親展閲覧画面では、題名・親展元/先・日付と文章が

表示されます。それぞれは表示欄にわかりやすく配置されており、文章も量が多い場合はスクロールして閲覧するスタイルとなっています。また、親展と親展との関係に従って親・子・隣の親展に直接移動し、閲覧することができます。



親展閲覧画面は、速ければ数秒で表示されますが、ネットワークやサーバの状態によっては時間がかかる場合があります。画面が表示されるまで長い場合で数十秒かかるケースがありますが、そのままお待ちください。



ユーザ名表示欄

ログイン名に対応したユーザ名が表示されます。ここに表示されているユーザが、現在 Arguelet を使用しているユーザとなります。複数の会議室に異なるユーザ名で参加しているユーザの場合は、この表示欄で自分のログイン状態を把握することができます。



ユーザ名は本名である必要はありません。匿名性を重視する場合はパソコン通信などでのニックネームに類似したもので構いません。逆に匿名性を排除する場合は本名がよいでしょう。



ユーザ名は同一会議室内で重複してはいけません。



B 会議室名表示欄

ユーザが入室した電子会議室の名前が表示されます。各ユーザはこの表示欄で自分が入室した会議室を把握します。会議室ではどのような内容の親展でも送信・返信可能ですが、会議室の名前に適した内容で情報コミュニケーションを行います。



会議室の名前と内容が一致しない親展が増えたとしたら Arguelet 管理者に相談して、その親展を主に扱う会議室を新設してもらおうといいでしょう。



C 親展番号表示欄

閲覧している親展の番号が「No: の親展」のように表示されます。返信親展であった場合には「No: への返信」の文字が追加して表示されます。また、閲覧している親展が新着親展だった場合は「未読」の文字が最後に表示されます。



D 題名表示欄

閲覧している親展の題名が表示されます。親展リスト画面で表示しきれなかった文字数の題名も表示されます。ただし、長い題名のものはカーソル移動で見ることになります。



E 送信者・返信者名表示欄

閲覧している親展を送信・返信したユーザ名が表示されます。送信親展(青色の封筒アイコン)であった場合は送り先のユーザ名が表示されます。返信親展(赤色の封筒アイコン)であった場合は親展を送ったユーザの名前が表示されます。



F 親展送信・受信日付表示欄

閲覧している親展が送信・受信された時間が表示されます。



G 文章表示欄

閲覧している親展の文章(本文)です。表示可能な文字数は約4,000字ですが、印刷保証された文字数は約2,000文字となります。画面に収まりきれない文字数は左右上下にスクロールして閲覧します。



H 印刷アイコン

印刷アイコンをダブルクリックすると、閲覧している親展を会議室名・親展番号・題名・送信者/返信者名・送信/受信日付・文章に分けて新規表示されたブラウザに表示します。実際に印刷する場合はブラウザの印刷ボタンを押下してください。



親展閲覧画面では、文章内の文字列を一時的に変更することができますが、印刷時にはサーバから正式な文章を取得してから印刷処理を行いますので、文面の改竄はできません。



印刷する文字を構成して、ブラウザに表示するまでに、ネットワークやサーバの状態によっては時間が掛かります。他の機能を使用しないで、そのまましばらくお待ちください。



URL アイコン

文章中にある URL 文字列をドラッグして選択状態にした上で、URL アイコンをダブルクリックすると新規表示されたブラウザに URL が示すリソースを表示します。ブラウザで扱えるプラグイン相当のものであれば基本的に何でも表示できます。

Arguelet の URL 表記例

<http://www.abc.com/company/ファイル名> HTTP プロトコル

<ftp://ftp.abc.com/company/ファイル名> FTP プロトコル

ファイル名は以下の例を参照

products.html	ホームページ文書
products.xdw	DocuWorks 文書
products.doc	Word 文書

products.xls	Excel 文書
products.txt	テキスト文書
products.lzh	圧縮ファイル



Arguelet は省略 URL 表記としてファイル名だけをドラッグして、URL アイコンをダブルクリックすることができます。ただし、その場合は会議室にユーザ登録する際にユーザ固有のファイル保存 URL を Arguelet 管理者に知らせておく必要があります。



ブラウザのプラグインによる表示は、対象となるファイルのサイズによって表示までの時間が大きく左右されます。また、プラグインの場合、転送経過がわかりづらいことが多く、ブラウザがフリーズしたように見えることがありますが、LAN 接続の LED 等あれば点滅を確認して転送が行なわれているか確認してください。



整文チェックボックス

入力欄の横幅に合わせて強制改行します。文章を連続して入力していき、適当なところでチェックすることにより、入力済みの文章を約 35 文字で折り返します。

参考

閲覧時には使用することのない機能ですが、改行されておらず横スクロールしながらでないで閲覧できない文章の場合は一時的に折り返し処理することで、縦スクロールだけで文章を閲覧することができます。

注意

大量の文章を折り返し処理する場合は少々時間が掛かります。他の機能を使用しないでしばらくお待ちください。



長文チェックボックス

親展閲覧時には使用しません。



親展グラフアイコン

親展と親展との関連(送信と受信の関係)を見たいときに、このアイコンをダブルクリックします。親展グラフ画面が表示されます。

参考

このアイコンは親展グラフを表示する機能があると同時に閲覧している親展の属性も表現しています。送信親展を閲覧している場合は青色の開封済み封筒アイコンが表示され、受信親展を閲覧している場合は赤色の開封済み封筒アイコンが表示されま

す。



親親展閲覧ボタン

親展と親展の関連に従って、現在、閲覧している親展の親にあたる親展を閲覧したい場合に使用します。閲覧している親展が最初の親であった場合は画面に変化はありません。



子親展閲覧ボタン

親展と親展の関連に従って、現在、閲覧している親展の子にあたる親展を閲覧したい場合に使用します。閲覧している親展の子に当たる親展が存在しない場合はボタンが灰色となって押下できません。



隣親展閲覧ボタン

親展と親展の関連に従って、現在、閲覧している親展の隣にあたる親展を閲覧したい場合に使用します。閲覧している親展の隣にあたる親展が存在しない場合はボタンが灰色となって押下できません。また、隣親展ボタンを押下し続けると最初の親展に戻ってきます。



元親展閲覧ボタン

一番初めに閲覧した親展を再度、閲覧したい場合に使用します。



これらの親展閲覧ボタンは、表示されるまでにネットワークやサーバの状態により時間がかかる場合があります。その間は他のボタン等が灰色になって使用不能になっていますが、記事が表示されるまでしばらくお待ちください。



返信ボタン

現在、閲覧している親展に対してコメントを書きたい場合は、返信ボタンを押下します。親展返信画面が表示されます。



閉じるボタン

親展閲覧画面を終了するときを押下します。



印刷のセキュリティ低下

印刷する場合にはセキュリティに十分注意してください。Arguelet は電子データのセキュリティを最大限確保しますが、印刷することによる紙面化へのセキュリティは保証できません(例えば、プリンタの前にどんな人物が立っているかわかりませんし、紙面の回覧による情報流出は避けられません)。この点に関して、Arguelet は印刷を使用制限する機能も有していますので、詳しくは、Arguelet 管理者に問合せください。

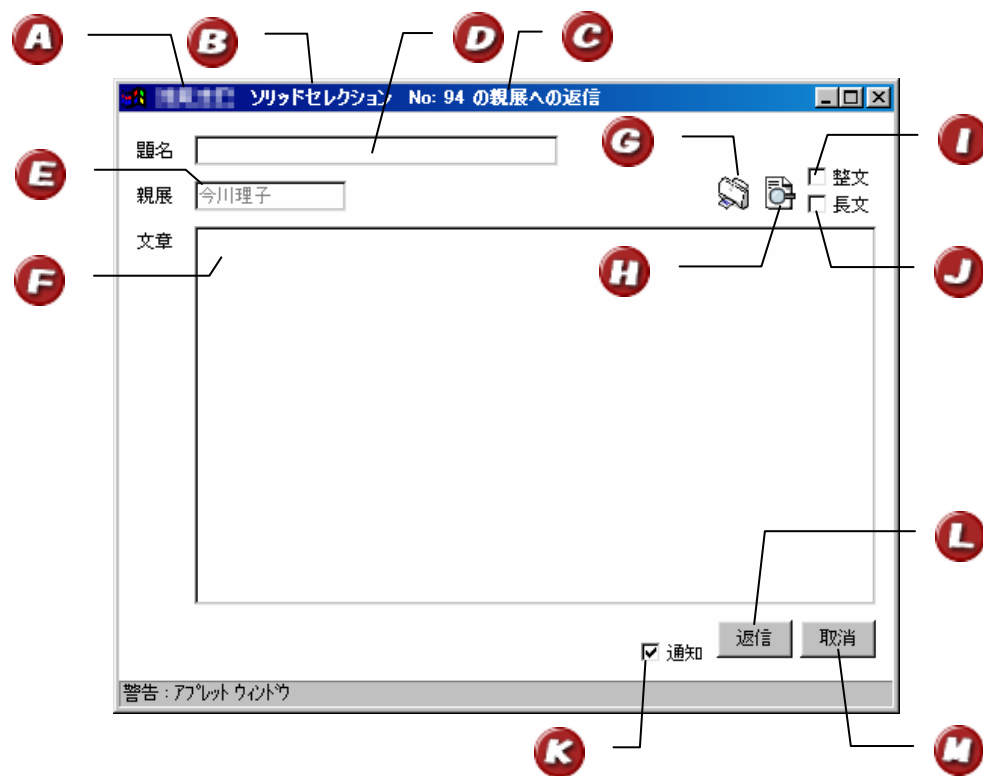


親・子・隣・元親展の関係

親展は送信と受信の関係があることから、親展間に世代に似た階層関係が発生します。例えば、一番初めに親展 を送信し、それに返信親展 を書くとします。親展 に同じく親展 を返信親展とし、最後に親展 を返信親展 に書いたとします。この場合、親展 を閲覧している時点では、親展 は親親展、親展 は子親展、親展 は隣親展、そして親展 は元親展という関係になります。

14 親展返信

親展閲覧画面で返信ボタンを押下すると親展返信画面が表示されます(図参照)。親展返信画面では、題名・親展元/先・文章が表示されます。それぞれは表示欄にわかりやすく配置されており、文章も入力量が多い場合はスクロールして入力することができます。



A ユーザ名表示欄

ログイン名に対応したユーザ名が表示されます。ここに表示されているユーザが、現在 Arguelet を使用しているユーザとなります。複数の会議室に異なるユーザ名で参加しているユーザの場合は、この表示欄で自分のログイン状態を把握することができます。

参考 ユーザ名は本名である必要はありません。匿名性を重視する場合はパソコン通信などでのニックネームに類似したもので構いません。逆に匿名性を排除する場合は本名がよいでしょう。

注意 ユーザ名は同一会議室内で重複してはいけません。

B 会議室名表示欄

ユーザが入室した電子会議室の名前が表示されます。各ユーザはこの表示欄で自分が入室した会議室を把握します。会議室ではどのような内容の親展でも送信・返信可能ですが、会議室の名前に適した内容で情報コミュニケーションを行います。

参考 会議室の名前と内容が一致しない親展が増えたとしたら Arguelet 管理者に相談して、その親展を

主に扱う会議室を新設してもらいたいでしょう。

C 親展番号表示欄

返信しようとしている親展の番号が「No: の親展への返信」のように表示されます。

D 題名入力欄

返信しようとする文章内容を要約した題名を入力します。入力文字数は 20 文字程度です。入力欄に入る文字数で入力します。超えて入力しても記録はされますが、親展リストでは末尾が「...」で省略されます。

E 親展先表示欄

親展を返信する先のユーザ名が表示されます。郵便でいうと送り先相手となります。この表示欄は修正することができないため灰色で表示されています。

F 文章入力欄

入力する親展の文章(本文)です。入力可能な文字数は約 4,000 字ですが、印刷保証された文字数は約 2,000 文字となります。画面に収まりきれない文字数は左右上下にスクロールして入力します。

G 印刷アイコン

印刷アイコンをダブルクリックすると、入力している親展を会議室名・親展番号・題名・送信者/返信者名・送信/受信日付・文章に分けて新規表示されたブラウザに表示します。実際に印刷する場合はブラウザの印刷ボタンを押下してください。



印刷する文字を構成して、ブラウザに表示するまでに、ネットワークやサーバの状態によっては時間が掛かります。他の機能を使用しないで、そのまましばらくお待ちください。

H URL アイコン

文章中にある URL 文字列をドラッグして選択状態にした上で、URL アイコンをダブルクリックすると新規表示されたブラウザに URL が示すリソースを表示します。ブラウザで扱えるプラグイン相当のものであれば基本的に何でも表示できます。

Arguelet の URL 表記例

<http://www.abc.com/company/ファイル名> HTTP プロトコル

<ftp://ftp.abc.com/company/ファイル名> FTP プロトコル

ファイル名は以下の例を参照

products.html	ホームページ文書
products.xdw	DocuWorks 文書
products.doc	Word 文書
products.xls	Excel 文書
products.txt	テキスト文書
products.lzh	圧縮ファイル



Arguelet は省略 URL 表記としてファイル名だけをドラッグして、URL アイコンをダブルクリックすることができます。ただし、その場合は会議室にユーザ登録する際にユーザ固有のファイル保存 URL を Arguelet 管理者に知らせておく必要があります。



ブラウザのプラグインによる表示は、対象となるファイルのサイズによって表示までの時間が大きく左右されます。また、プラグインの場合、転送経過がわかりづらいことが多く、ブラウザがフリーズしたように見えることがあります。LAN 接続の LED 等あれば点滅を確認して転送が行なわれているか確認してください。



整文チェックボックス

入力欄の横幅に合わせて強制改行します。文章を連続して入

力していき、適当なところでチェックすることにより、入力済みの文章を約 35 文字で折り返します。



通常は使用することのない機能ですが、改行されていない HTML 形式の文章やメールからの切り貼りを行う際や、連続してタイプする人には便利な機能です。折り返しが綺麗でないように思えますが、プロポーショナルフォントのためにそのように見えます。等幅フォントのアプリケーションにコピーしてみるときっちりと両幅が揃っています。



大量の文章を折り返し処理する場合は少々時間が掛かります。他の機能を使用しないでしばらくお待ちください。



長文チェックボックス

通常、チェックしません。文章を返信する際に印刷文字数の限度(約2,000文字)を越えている場合は返信できないようになっています。ただし、その場合でも印刷できない部分があることを承知で約4,000文字までならば返信することができます。その場合にチェックします。ただし、4,000文字を越える場合はチェックしてもしなくても返信はできません。



通知チェックボックス

返信親展を返信した時に、返信先のユーザに受信があったことを通知する場合にチェックします。通常はチェックされた状態なので変更する必要はありません。



通知は sendmail システムを使用します。従って、sendmail 環境のないネットワークでは通知を行うことはできません。



返信ボタン

入力した情報を返信親展として Arguelet サーバに正式に登録したい場合にボタン押下します。ネットワークやサーバの状態によっては登録までに数十秒かかることがあります。その場合、しばらく全てのボタンやチェックボックスが灰色となって使用不可となります。その間、Arguelet サーバに親展を登録していますので、そのままお待ちください。登録完了後、親展返信画面は自動的に閉じられます。



Arguelet サーバでの親展登録作業開始時に音が鳴ります。



Arguelet では、HTML 系の電子会議室のように登録できない文字はありません(半角カナ等)。基本的に

全ての文字が登録対象となりますが、幾つかの文字は登録制限(使用できない)があります。また、全角スペースは登録時に自動的に半角スペース二つに変換して登録します。

使用不可能な文字「バッククオート、パーティカルバー等」



入力されている情報に不完全なもの(題名が入力されていない等)がある場合は登録されません。



ボタンが灰色になっている状態では、なるべく他の機能を使わないで下さい。



取り消しボタン

入力されている情報を破棄して、親展返信画面を終了します。



印刷のセキュリティ低下

印刷する場合にはセキュリティに十分注意してください。Arguelet は電子データのセキュリティを最大限確保しますが、印刷することによる紙面化へのセキュリティは保証できません(例えば、プリンタの前にどんな人物が立っているかわかりませんし、紙面の回覧による情報流出は避けられませ

ん)。この点に関して、Arguelet は印刷を使用制限する機能も有していますので、詳しくは、Arguelet 管理者に問合せください。



文書内の URL 表記

文書内に URL を表記しておくことにより複数の添付ファイルや URL を他のユーザに公開することができます。例えば、ある企画書を作り、その企画書が Word でまとめてあるとします。また、企画書を作る際に参考にしたインターネット上のホームページがあったとします。その場合、以下のような文章を登録することで、会議室に入室できる全ユーザが簡単に Word 文書やホームページを情報共有することができます。

文書の例：

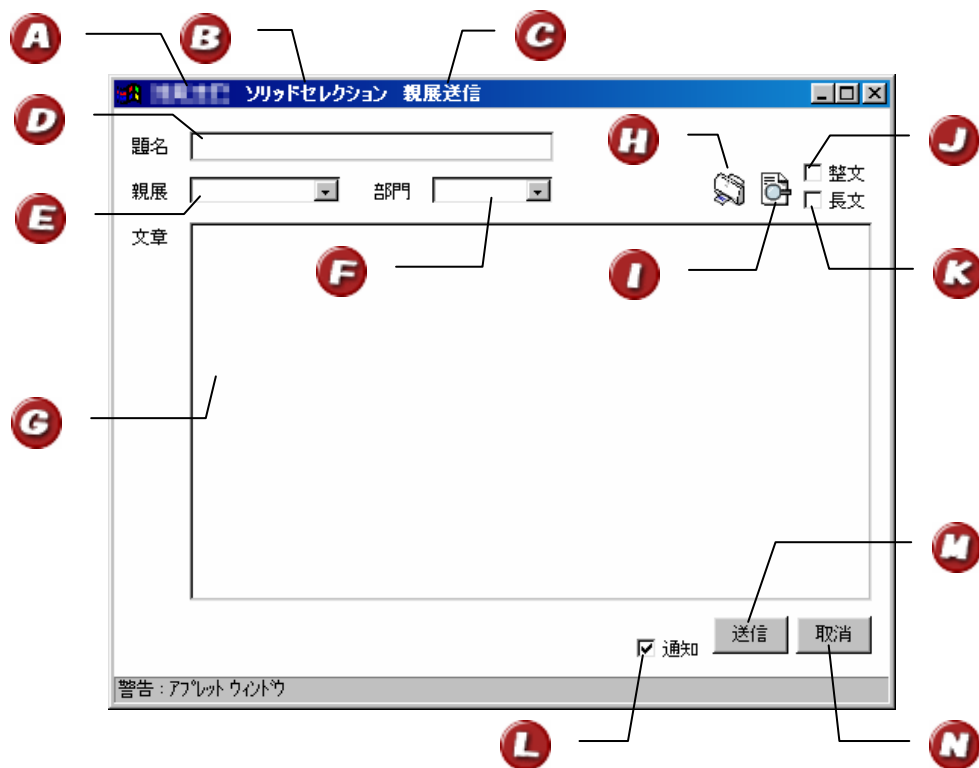
「おつかれさまです。懸案となっております 地区における新規店舗展開の企画書がまとめあがりました。企画書はまだ草案段階ですが、皆さんの忌憚のない意見をお聞かせいただき、参考にしたいと考えております。企画書は「企画書 01 版.doc」となっております。また、参考にしました チェーンのホームページと 商事のホームページの URL を示しますので、確認してみてください。

チェーン：<http://www.lifecom.co.jp/index.html>

商事：<http://www.dai1chi.co.jp/index.html>
それではよろしく申し上げます。」

15 親展送信

親展リスト画面で送信ボタンを押下すると親展送信画面が表示されます(図参照)。親展送信画面では、題名・親展元/先・部門・文章が表示されます。それぞれは表示欄にわかりやすく配置されており、文章も入力量が多い場合はスクロールして入力することができます。



A ユーザ名表示欄

ログイン名に対応したユーザ名が表示されます。ここに表示されているユーザが、現在 Arguelet を使用しているユーザとなります。複数の会議室に異なるユーザ名で参加しているユーザの場合は、この表示欄で自分のログイン状態を把握することができます。



ユーザ名は本名である必要はありません。匿名性を重視する場合はパソコン通信などでのニックネームに類似したもので構いません。逆に匿名性を排除する場合は本名がよいでしょう。



ユーザ名は同一会議室内で重複してはいけません。

B 会議室名表示欄

ユーザが入室した電子会議室の名前が表示されます。各ユーザはこの表示欄で自分が入室した会議室を把握します。会議室ではどのような内容の親展でも送信・返信可能ですが、会議室の名前に適した内容で情報コミュニケーションを行います。



会議室の名前と内容が一致しない親展が増えたと思ったら Arguelet 管理者に相談して、その親展を

主に扱う会議室を新設してもらうといいでしょう。

C 親展送信表示欄


「親展送信」と表示されます。

D 題名入力欄

送信しようとする文章内容を要約した題名を入力します。入力文字数は 20 文字程度です。入力欄に入る文字数で入力します。超えて入力しても記録はされますが、親展リストでは末尾が「...」で省略されます。

E 親展先選択コンボボックス

親展を送信する先のユーザ名を選択します。 の部分をプレスするとリストボックスが表示されますので、親展先を選択します。郵便でいうと送り先相手となります。

 注意 親展先として自分自身は選択できません。送信先リストにも自分自身のユーザ名は表示されません。

F 部門選択コンボボックス

親展先が所属する部門を選択します。 の部分をプレスするとリストボックスが表示されますので、部門を選択します。選択された部門に所属するユーザのみが親展先選択コンボ


ボックスに表示されるようになります。

G 文章入力欄

入力する親展の文章(本文)です。入力可能な文字数は約 4,000 字ですが、印刷保証された文字数は約 2,000 文字となります。画面に収まりきれない文字数は左右上下にスクロールして入力します。

H 印刷アイコン

印刷アイコンをダブルクリックすると、入力している親展を会議室名・親展番号・題名・送信者/返信者名・送信/受信日付・文章に分けて新規表示されたブラウザに表示します。実際に印刷する場合はブラウザの印刷ボタンを押下してください。

 注意 印刷する文字を構成して、ブラウザに表示するまでに、ネットワークやサーバの状態によっては時間が掛かります。他の機能を使用しないで、そのまましばらくお待ちください。

I URL アイコン

文章中にある URL 文字列をドラッグして選択状態にした上で、URL アイコンをダブルクリックすると新規表示されたブ

ブラウザに URL が示すリソースを表示します。ブラウザで扱えるプラグイン相当のものであれば基本的に何でも表示できます。

Arguelet の URL 表記例

<http://www.abc.com/company/ファイル名> HTTP プロトコル

<ftp://ftp.abc.com/company/ファイル名> FTP プロトコル

ファイル名は以下の例を参照

products.html	ホームページ文書
products.xdw	DocuWorks 文書
products.doc	Word 文書
products.xls	Excel 文書
products.txt	テキスト文書
products.lzh	圧縮ファイル

参考

Arguelet は省略 URL 表記としてファイル名だけをドラッグして、URL アイコンをダブルクリックすることができます。ただし、その場合は会議室にユーザ登録する際にユーザ固有のファイル保存 URL を Arguelet 管理者に知らせておく必要があります。

注意

ブラウザのプラグインによる表示は、対象となるファイルのサイズによって表示までの時間が大きく

左右されます。また、プラグインの場合、転送経過がわかりづらいことが多く、ブラウザがフリーズしたように見えることがあります。LAN 接続の LED 等あれば点滅を確認して転送が行なわれているか確認してください。



整文チェックボックス

入力欄の横幅に合わせて強制改行します。文章を連続して入力していき、適当なところでチェックすることにより、入力済みの文章を約 35 文字で折り返します。

参考

通常は使用することのない機能ですが、改行されていない HTML 形式の文章やメールからの切り貼りを行う際や、連続してタイプする人には便利な機能です。折り返しが綺麗でないように思えますが、プロポーショナルフォントのためにそのように見えます。等幅フォントのアプリケーションにコピーしてみるときっちりと両幅が揃っています。

注意


大量の文章を折り返し処理する場合は少々時間が掛かります。他の機能を使用しないでしばらくお待ちください。

長文チェックボックス

通常、チェックしません。文章を送信する際に印刷文字数の限度(約2,000文字)を越えている場合は送信できないようになっています。ただし、その場合でも印刷できない部分があることを承知で約4,000文字までならば送信することができます。その場合にチェックします。ただし、4,000文字を越える場合はチェックしてもしなくても送信はできません。

通知チェックボックス


送信親展を送信した時に、送信先のユーザに受信があったことを通知する場合にチェックします。通常はチェックされた状態なので変更する必要はありません。


 通知は sendmail システムを使用します。従って、sendmail 環境のないネットワークでは通知を行うことはできません。


送信ボタン


入力した情報を送信親展として Arguelet サーバに正式に登録したい場合にボタン押下します。ネットワークやサーバの状態によっては登録までに数十秒かかることがあります。その場合、しばらく全てのボタンやチェックボックスが灰色となって使用不可となります。その間、Arguelet サーバに親展

を登録していますので、そのままお待ちください。登録完了後、親展送信画面は自動的に閉じられます。

 Arguelet サーバでの親展登録作業開始時に音が鳴ります。

 Arguelet では、HTML 系の電子会議室のように登録できない文字はありません(半角カナ等)。基本的に全ての文字が登録対象となりますが、幾つかの文字は登録制限(使用できない)があります。また、全角スペースは登録時に自動的に半角スペース二つに変換して登録します。
使用不可能な文字「バッククオート、バーティカルバー等」

 入力されている情報に不完全なもの(題名が入力されていない等)がある場合は登録されません。

 ボタンが灰色になっている状態では、なるべく他の機能を使わないで下さい。



取り消しボタン

入力されている情報を破棄して、親展送信画面を終了します。



印刷のセキュリティ低下

印刷する場合にはセキュリティに十分注意してください。Arguelet は電子データのセキュリティを最大限確保しますが、印刷することによる紙面化へのセキュリティは保証できません(例えば、プリンタの前にどんな人物が立っているかわかりませんし、紙面の回覧による情報流出は避けられません)。この点に関して、Arguelet は印刷を使用制限する機能も有していますので、詳しくは、Arguelet 管理者に問合せください。



文書内の URL 表記

文書内に URL を表記しておくことにより複数の添付ファイルや URL を他のユーザに公開することができます。例えば、ある企画書を作り、その企画書が Word でまとめてあるとします。また、企画書を作る際に参考にしたインターネット上のホームページがあったとします。その場合、以下のような文章を登録することで、会議室に入室できる全ユーザが簡単に Word 文書やホームページを情報共有することができます。

文書の例：

「おつかれさまです。懸案となっております 地区における新規店舗展開の企画書がまとめあがりました。企画書はまだ草案段階ですが、皆さんの忌憚のない意見をお聞かせいただき、参考にしたいと考えております。企画書は「企画書 01 版.doc」となっております。また、参考にしました チェーンのホームページと 商事のホームページの URL を示しますので、確認してみてください。

チェーン：<http://www.lifecom.co.jp/index.html>

商事：<http://www.dai1chi.co.jp/index.html>

それではよろしく申し上げます。」

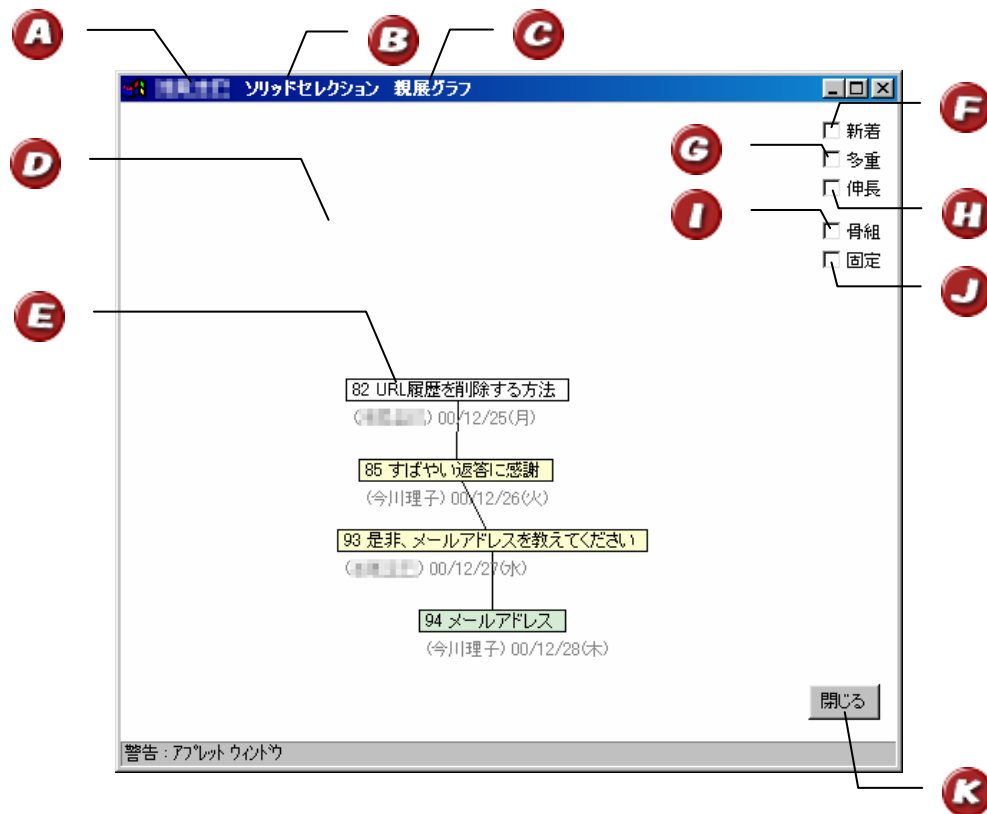


同報と転送

Arguelet の親展機能は通常のメールシステムとほぼ等価ですが、本格的なメールシステムにある同報と転送機能は持っていません。これは、記事の投稿機能が同報に値するため、いわゆるメール同報機能が必要ないと判断したためです。また、Arguelet の親展はメールとしても使用できますが、元来会議室形式での使用が前提のため転送等による情報伝達機能は持っていません。

16 親展グラフ

親展リスト画面や親展閲覧画面で、親展グラフアイコンをダブルクリックすると親展グラフが表示されます。親展グラフは親展と親展の関連を木構造でグラフィカルに表現するものです。親展リスト画



面では把握しきれない親展と親展の関連を一目で把握することができます。

A ユーザ名表示欄

ログイン名に対応したユーザ名が表示されます。ここに表示されているユーザが、現在 Arguelet を使用しているユーザとなります。複数の会議室に異なるユーザ名で参加しているユーザの場合は、この表示欄で自分のログイン状態を把握することができます。

参考 ユーザ名は本名である必要はありません。匿名性を重視する場合はパソコン通信などでのニックネームに類似したものでも構いません。匿名性を排除する場合は本名がよいでしょう。

注意 ユーザ名は重複してはいけません。

B 会議室名表示欄

ユーザが入室した電子会議室の名前が表示されます。各ユーザはこの表示欄で自分が入室した会議室を把握します。会議室ではどのような内容の親展でも送信・返信可能ですが、会議室の名前に適した内容で情報コミュニケーションを行います。

参考

会議室の名前と内容が一致しない親展が増えたと思ったら Arguelet 管理者に相談して、その親展を主に扱う会議室を新設してもらおうといいでしょう。

C

親展グラフ表示欄

「親展グラフ」と表示されます。

D

親展グラフ表示エリア

このエリアに親展グラフが表示されます。親展を表した各ノードがエリアを出ることはできません。

E

親展ノード

このノードをダブルクリックすると親展閲覧画面が表示されます。ネットワークやサーバの状態により、表示されるまでに時間がかかる可能性があります。その間はボタン等が灰色になって使用不可となっていますが、最悪でも数十秒で表示されますので、しばらくお待ちください。

参考

このノードは親展の属性も表現しています。新着親展の場合は右上端が赤く着色されます。送信親展の場合は白色のノードが表示され、返信親展の場合は黄色のノードが表示されます。現在、選択中のノ

ードは緑色になっています。また、検索した結果を表示した親展リストから親展グラフを開いた場合は検索に一致した親展ノードの右上端が青く着色されます。

注意

ボタンが灰色になっている状態では、なるべく他の機能を使わないで下さい。

F

新着チェックボックス

親展グラフを見ている時点での最新の会議室状態を知りたいときにチェックします。しばらく全てのボタンやチェックボックスが灰色となって使用不可となります。その間に、Arguelet サーバから最新の情報を取得します。最新情報が取得できた時点でボタン等が使用可能となり、新着親展(新しく Arguelet に登録された親展)があれば親展グラフに追加表示されます。

参考

親展が新着か新着でないかは、親展を表現したノードで識別することができます。ノードの右上端が赤く着色されているものが新着親展です。

注意

新着チェックはサーバとネットワークに負荷をかけます。何度もチェックを繰り返さないようにして

ください。



ボタンが灰色になっている状態では、なるべく他の機能を使わないで下さい。



多重表示チェックボックス

通常、チェックしません。複数の話題(送信・受信)を同時にグラフ表示するときにチェックします。



伸長チェックボックス

親展グラフの表示エリアを縦二倍に拡張したいときにチェックします。大量の親展が関連しあったときに親展ノードが込み入らないように縦長にして表示します。



骨組みチェックボックス

親展ノードが重なり合って関連が見にくいときにチェックします。



固定チェックボックス

親展ノードが揺れてダブルクリックしづらいときにチェックします。チェックすると全ての親展ノードが動作停止します。その状態で親展ノードをマウスでドラッグ移動することもできます。



閉じるボタン

親展グラフ画面を終了します。



親展グラフと親展ノード

親展をノードとして捉え木構造でグラフ化します。送信・返信モデルの議論の流れは、典型的な階層型の木構造になります。単純な意見の応酬であれば一列にノードは並びますが、一つの送信に並列した意見等が複数返信された場合は複雑なグラフとなって表示されます。ただし、親展の場合は一対一でコミュニケーションされるためほとんどが単純な一列グラフとして表示されます。自分が送信した親展がどのような流れで相手と情報交換したかを見る分には効果がありません。



添付ファイルの付け方

ファイルの添付は Arguelet ではなく、ファイル転送ソフトを使用します。ファイル転送ソフト(FTP プロトコルを解釈できるもの。以後 FTP ソフトと略)は多数存在しますが、無料で優秀なものもあります。FTP ソフトは FTP サーバに接続し、ローカルにあるファイルをリモートサーバに転送します。Arguelet は FTP サーバのファイル格納 URL と Arguelet 文書内の URL を結合して、ユーザへのファイル閲覧機能を提供します。FTP ソフトの使用方法は各ソフトの取扱説明書に委ねますが、まず、プロバイダと契約して FTP サーバへのユーザ名とパスワードを発行してもらわないといけません。その後、Arguelet 管理者に連絡をしてください。Arguelet サーバの設定後、添付ファイルの登録ができるようになります(省略 URL も可能になります)。



Arguelet と FTP ソフト

Arguelet と FTP ソフトは補完関係にあります。添付ファイル転送機能を持たせず、他のファイル転送ソフトを利用することで、Arguelet に必要十分な電子コミュニケーションのデザインを実装しています。



おことわり

- ・ 本書の全ての権利は弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- ・ 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますが、御了承ください。
- ・ 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますが、御了承ください。
- ・ 本製品の内容またはその使用により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますので、御了承ください。

Arguelet マニュアル

2001 年 1 月 20 日 第一版発行

2001 年 8 月 17 日 第二版発行

管理・発行：ソリッドシステム